

2026年度

主要事業の概要

説明資料

豊岡市 行政管理部 財政課

主 要 事 業 の 概 要 （ 目 次 ）

No.	事 業 名	ページ
1	官民共創の推進 【新規】 【継続】	5
2	但東Xプロジェクト:キオスク端末整備 【新規】	7
3	市民との共創支援事業 【継続】	8
4	豊岡スマートコミュニティ推進機構事業 【継続】	9
5	被災者支援システムの導入 【新規】	10
6	三方地区コミュニティセンターの長寿命化 【新規】	12
7	出会い機会の創出 【継続】	13
8	定住推進事業 【拡大】 【継続】	14
9	UIターン推進事業 【継続】	15
10	多文化共生推進事業 【継続】	17
11	ワークイノベーション推進事業 【継続】	18
12	ジェンダーギャップ解消推進事業 【新規】 【継続】	19
13	子育て中の女性の就労促進事業 【継続】	21
14	多様性推進事業 【継続】	22
15	子どもの医療費助成の拡充 (高校生等年代までに拡大) 【拡大】	23
16	地域福祉計画の策定 【新規】	24
17	障害者福祉計画の策定 【新規】	25
18	とよおか健康ふらん21の策定 【新規】	26
19	公立豊岡病院組合への財政支援 【新規】	28
20	RSウイルスワクチンの定期接種化 【新規】	29
21	特定不妊治療の治療費、交通費助成 【新規】 【継続】	30
22	子育て支援施策等の情報発信 【新規】	31
23	芸術文化観光専門職大学との連携推進事業 【新規】 【継続】	32
24	国内観光客の誘客促進 【継続】	33

No.	事業名		ページ
25	観光まちづくり推進事業	【継続】	34
26	海外戦略推進事業	【継続】	35
27	豊岡演劇祭協同開催事業	【継続】	36
28	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業	【継続】	37
29	文化芸術創造交流事業	【継続】	38
30	城崎国際アートセンター事業	【継続】	39
31	全国高等学校総合体育大会の登山競技及びカヌー競技の開催	【継続】	41
32	城崎ボートセンター常設棧橋の改修	【新規】	42
33	文化会館の整備	【継続】	43
34	有害鳥獣駆除対策 (クマ防除対策、狩猟スクール、鹿肉活用)	【新規】 【継続】	44
35	治山事業の実施	【継続】	45
36	森林環境整備事業	【新規】 【継続】	46
37	ふるさと応援寄附金の推進	【継続】	48
38	稼ぐ力強化総合支援事業	【新規】	50
39	地域経済担い手育成事業	【継続】	52
40	中小企業奨学金返済支援事業	【新規】	54
41	産業用地の適地選定	【新規】	55
42	第3次環境基本計画の策定	【新規】	56
43	脱炭素先行地域推進事業	【新規】	57
44	道路維持 (道路構造物長寿命化、大規模舗装修繕等)	【継続】	59
45	雪害対策事業	【継続】	77
46	橋りょうの長寿命化	【継続】	83
47	JR山陰本線の利用促進事業	【新規】 【継続】	85
48	竹野地域予約型乗合交通「たけの〜る」の運行支援	【継続】	86
49	バスストップ整備事業	【継続】	87

No.	事業名		ページ
50	地域公共交通キャッシュレス決済導入支援事業	【新規】	88
51	子育て世帯・若者夫婦世帯に対する市営住宅の提供	【継続】	89
52	住宅耐震改修促進	【継続】	90
53	地籍調査事業	【継続】	92
54	地域解決型予算 (道路水路等区内環境改良事業の拡大)	【拡大】	93
55	城崎振興局の取組	【継続】	94
56	竹野振興局の取組	【新規】 【継続】	96
57	日高振興局の取組	【新規】 【継続】	98
58	出石振興局の取組	【新規】 【継続】	100
59	出石永楽館歌舞伎開催事業	【継続】	101
60	但東振興局の取組	【新規】 【継続】	102
61	豊岡消防署日高分署の改修事業	【新規】	104
62	社会教育・生涯学習人材バンク まなびあいネットの運営	【新規】	105
63	図書館未来プランの改訂	【新規】	106
64	小学校給食費の無償化	【新規】	107
65	給食センターの統合(日高学校給食センターの廃止)	【継続】	108
66	学習用タブレット端末の更新	【継続】	109
67	非認知能力向上対策事業	【継続】	110
68	こども誰でも通園制度	【新規】	111
69	保育所等保育料の軽減	【拡大】	112
70	こども計画の推進(関連事業)	【新規】 【拡大】 【継続】	113

No. 1 事業名 官民共創の推進	2026 年度 予算額	4,691 千円	新規 拡大 継続
-------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡で暮らしてよかったとみんなが実感できるまち」の実現のため、豊岡市が抱える「地域課題」の解決やより良い公共サービスの提供、まちの魅力向上に向けて、官（行政）と民（民間事業者など）がそれぞれのアイデアとノウハウを生かし、互いに協力し、新たな価値を創り出す。

2 2026 年度予算

(1) 空飛ぶクルマ社会実装に向けた取組み **新規**

産業の発展と、社会課題の解決が期待される空飛ぶクルマについて、市内での空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組みを推進する。取組みを通じて、豊岡市をより「訪れたくなる」「住みつけたくなる」「働きたくなる」憧れのまちを目指す。

ア 内 容

(ア) 「コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト推進協議会」の会費
2025年9月25日に地域団体・関連事業者とともに設立した「コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト推進協議会」の会費を負担する。

※協議会活動内容は、社会受容性の向上のためのイベント開催・情報発信、協議会会長等の官公庁等へ訪問等。

※2026年春の協議会総会により負担内容は変更の可能性もある。

(イ) 豊岡市空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助金（仮称）の創設

市内で空飛ぶクルマ社会実装に向けた事業化準備に取り組む事業者に補助を行う。兵庫県「空飛ぶクルマ実装促進事業」補助金において交付決定を受けた者を対象に、市も随伴補助を行い、1件当たり上限250万円を補助する。

(ウ) 官公庁(国交省・経産省等)へのトップセールス

市長が、官公庁に対して空飛ぶクルマ実装に係る陳情等を実施する。

イ 事業主体

豊岡市、コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト推進協議会

ウ 予算額

2,743千円（地域未来交付金1/2）



出典：経済産業省ウェブサイト

(2) 官民共創推進のための取組み

ア 内 容

- (ア) 庁内への官民共創風土をさらに醸成するための勉強会の実施
 - ・官民共創の推進にかかるセミナー、ワークショップの開催
- (イ) 官民共創を推進するための支援業務の委託
 - ・各課が抱える課題を文字化、企業等への課題発信準備支援
 - ・勉強会で出てきた課題や各課が抱える課題に関する企業等との意見交換支援
 - ・官民共創に関する助言・プロジェクトの伴走支援

イ 事業主体

豊岡市

ウ 予算額

1,948 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(3) 経費詳細

ア 空飛ぶクルマ社会実装に向けた取組み 2,743 千円

- (ア) 「コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクト推進協議会」会費 50 千円
- (イ) 豊岡市空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助金（仮称） 2,500 千円
- (ウ) トップセールス旅費 193 千円

イ 官民共創推進のための取組み 1,948 千円

- (ア) 官民共創勉強会(セミナー、ワークショップ)講師謝礼 763 千円
- (イ) 官民共創勉強会講師旅費 156 千円
- (ウ) 官民共創推進支援業務委託料 1,029 千円

担当課名【経営企画課】（内線 2080）

(2) 経済が活性化するまち

(6) とともに未来をつくる行政経営

No. 2	事業名	但東Xプロジェクト：キオスク端末整備	2026 年度 予算額	5,736 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「住み続けられる地域づくり」を目指す「但東X（クロス）プロジェクト」の一環として、但東地域の主要な商業施設にキオスク端末を設置する。

現在、但東地域内にはコンビニがないため、住民が休日や夜間に住民票等の証明書を取得することは困難である。また、2025年度からの「手数料200円」という負担軽減措置を享受できない地域間格差も課題となっている。

身近な買い物拠点に端末を導入することで、行政サービスの利用環境を整備し、地域住民の利便性向上と持続可能な地域づくりを図る。

2 2026年度予算

(1) 予算額

5,736千円（地域未来交付金（デジタル実装型）1/2）

(2) 事業内容

キオスク端末を但東地域の主要な商業施設に設置することで、証明書の取得について土日祝日、夜間等も利用可能な環境を整備する。

(3) 事業期間

2026年度～

(4) 事業主体

豊岡市



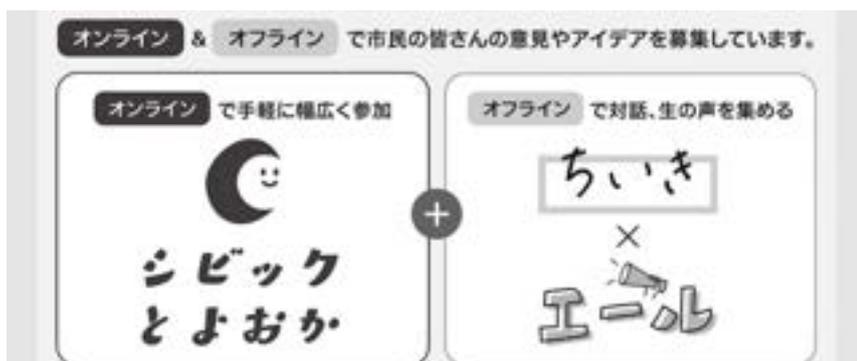
担当課名【DX・行財政改革推進課】（内線 2041）

(6) ともに未来をつくる行政経営

No. 3 事業名 市民との共創支援事業	2026 年度 予算額	4,345 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

第5次行財政改革大綱の取組みの柱である、「(1)公共サービスが多様な人たちによって創造されている」「(2)多様な市民の思い・願いが尊重されている」を実現するため、市民参加型合意形成オンラインプラットフォームの運用と現地開催型のイベントを通じ、市の課題・施策に対して立場や場所、時間にとらわれず多様な意見を聴取し、人と地域に寄り添った市政の推進を行う。



2 全体の事業内容

(1) 内 容

持続可能な行政運営、より満足度の高い行政サービスの提供に繋げるため、市民との共創を進める手段として、多様な市民の意見を市政に活かす取組みを行う。

(2) 事業期間

2024 年度～2028 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026 年度予算

(1) 予算額

4,345 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

ア 「シビックとよおか」の活用拡大

2025年度に運用を開始した、市民参加型合意形成オンラインプラットフォーム「シビックとよおか」の活用を拡大する。

イ 「ちいき×エール」の開催

地域課題について、市がプレゼンテーションを行い、それに対する多様な市民の声を聴く「ちいき×エール」を開催する。市民プレゼンターによる地域課題の共有も行う。

担当課名【DX・行財政改革推進課】（内線 2041）

(4) みんなで集えるまち

No. 4	事業名	豊岡スマートコミュニティ 推進機構事業	2026 年度 予算額	1,114 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

第5次行財政改革大綱の取組みの柱である、「(1)公共サービスが多様な人たちによって創造されている」「(2)多様な市民の思い・願いが尊重されている」を実現する仕組みをつくる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

「スマートコミュニティ」の実現に向け、デジタル等を活用し、地域課題の改善・解決を図るための各種取組みを推進するとともに、公共サービスの市民との共創に取り組む。

(2) 事業期間

2020 年度～

(3) 事業主体

豊岡スマートコミュニティ推進機構

3 2026 年度予算

(1) 予算額

1,114 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

ア 福祉モビリティの実証

イ コミュニティ配送の実証

ウ 市民向けアプリ「Toyooka iD0」の推進

エ 市民の Will（これやりたい）を応援するイベント「みんな×エール」の実施



▲ みんな×エールの様子

担当課名【DX・行財政改革推進課】（内線 2041）

(4) みんなで集えるまち

No. 5 事業名 被災者支援システムの導入	2026 年度 予算額	4,237 千円	新規 拡大 継続
------------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

兵庫県と県内市町は、能登半島地震で顕在化した課題等を踏まえ、応急期に係る災害対策の更なる実効性を確保するため、家屋被害認定調査業務、り災証明書発行業務等に関する県下で統一したシステムを導入する。

県内統一システムの導入は、被災市民に係るり災証明発行の迅速化とともに、県内の市町が大規模災害で被災した場合においても、県内市町の職員が当該システムのノウハウを持ち合わせることができ市町相互の災害応援及び受援にも有効である。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

兵庫県と県下全ての市町で被災者支援システム管理運営協議会を設置し、被災者支援システムの基本機能とともに、市町が必要な附帯機能を選択して導入する。

本市は、被災者が被災者支援を受けるために必要となる「り災証明書」が迅速に発行できるように、家屋被害認定調査のためのモバイルシステム及びモバイル端末、当該家屋被害認定調査2次評価のための損害割合カリキュラムの附帯機能を導入する。

(2) 事業期間

2026年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

2026年度 4,237千円/年

2027年度～ 1,943千円/年

2029年度～ 2,672千円/年

3 2026年度予算

(1) 予算額

4,237千円（地域未来交付金「デジタル実装型」1/2）

(2) 事業内容

ア 旅費（補助対象外）	22千円
イ 備品購入費L G W A Nパソコン	227千円
ウ 被災者支援システム管理運営協議会負担金	3,988千円

No. 6	事業名	三方地区コミュニティセンターの長寿命化	2026 年度 予算額	61,695 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地域づくり活動や地域の課題解決への取組を実践する地域コミュニティ組織の活動拠点であり、また、災害時の避難所にも指定されているコミュニティセンターについて、施設の計画保全を図る目的から、豊岡市コミュニティセンター個別施設計画に基づき、長寿命化改修工事を行う。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

61,695 千円（公共施設等適正管理推進事業債 90%）

ア 設計・監理業務 8,873 千円

イ 工事費 52,822 千円

(2) 事業内容

予防保全の手法を取入れた改修として、空調設備更新、照明LED化、外壁塗装等を実施し、施設の長寿命化および維持コストと管理面積の縮減を図る。

(3) 事業期間

2026 年度

(4) 事業主体

豊岡市



（三方地区コミュニティセンター 昭和 56 年築）

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

(3) 安心安全なまち

(4) みんなで集えるまち

No. 7	事業名 出会い機会の創出	2026 年度 予算額	4,965 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市人口ビジョンで設定した政策目標1「2050年までに出生率を1.8人に引き上げる」を達成するため、結婚支援事業を行う。

出会いの機会を増やし、交際し結婚するまでに包括的なサポートを実施し、成婚数の増加を目指す。

2 2026年度予算

(1) 予算額

4,965千円（地域未来交付金1/2）

(2) 事業内容

ア マッチングイベント（はーとピー）の開催 2,027千円

(ア) マッチングイベント「はーとピー」（12回程度/年）の開催

(イ) ホームページや地域情報誌、Instagramでイベント周知

(ウ) イベントにコミュニケーションワークショップ等を取り入れ交流を促進し、マッチングの増加を図る。

イ お見合い支援（縁むすびさん） 1,688千円

縁むすびボランティア及び事務局で、1対1及び複数人のお見合いをセッティングする。

ウ ボランティアモチベーション向上支援 430千円

(ア) 縁むすびボランティアが成婚に導いた際に報償金を支払う。

(イ) 縁むすびボランティア同士の交流会を開催。講師を招聘し模擬見合い等を行いながら意見交換を行い、ボランティアのモチベーションを高める。

エ 民間でのマッチングイベント開催支援 150千円

マッチングイベントを実施したい市内の店舗を募り、1回につき5万円を上限に開催の補助を行う。

オ 運営経費 670千円

(ア) 地域プロジェクトマネージャー（市会計年度任用職員）による持続可能な結婚支援体制の検討 ※人件費は含まない

(イ) その他事業を運営していくために必要な事務費

(3) 事業期間

2019年度～

(4) 事業主体

豊岡市



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

(1) 子育てに優しいまち

No. 8	事業名 定住推進事業	2026	26,400 千円	新規 拡大 継続
		年度 予算額		

1 事業目的（趣旨）

移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を高め、移住を促進する。



2 2026 年度予算

(1) 予算額

26,400 千円



飛んでるローカル豊岡（空き家物件情報）

(2) 事業内容

ア 移住検討者に対する支援（豊岡市移住促進支援補助金） 400千円

- (ア) 宿泊費（補助率定額 大人2,000円/人、子ども1,000円/人）
- (イ) 航空運賃（補助率定額 片道上限4,000円/人）
- (ウ) レンタカー借受費用（補助率定額 3,000円/日）

イ 移住に係る支援（豊岡市定住促進事業補助金） 13,000千円

- (ア) 住宅（空き家）改修費（補助率2/3、上限1,000千円）
- (イ) 賃貸用空家の清掃費等（補助率10/10、上限100千円）
- (ウ) 引越し費用（補助率2/3、上限200千円）

ウ 東京圏からの移住支援金 3,000 千円（負担割合：国1/2、県・市各1/4）

国制度を活用し、東京圏からの移住者に補助金を交付する。

- (ア) 単身世帯：600 千円
- (イ) 複数人世帯：1,000 千円
- (ウ) 18歳未満の世帯員：+1,000 千円/人

エ 古民家を活用した地域活性化事業支援（古民家再生促進支援事業補助金） 拡大
10,000 千円

古民家を地域交流拠点等に活用する場合に改修工事費を補助する。

※兵庫県の古民家再生促進支援事業の採択を受ける必要あり。

（補助率1/3以内 上限額は対象経費により変動、最大上限10,000千円。県は市と同額補助）

(3) 事業主体

豊岡市



飛んでるローカル豊岡（各種支援制度）

担当課名【地域づくり課】（内線2781）

(1) 子育てに優しいまち

(2) 経済が活性化するまち

(4) みんなが集えるまち

No.9 事業名 U I ターン推進事業	2026 年度 予算額	10,823 千円	新規 拡大 継続
----------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。併せて、移住を検討する際に必要な情報（暮らし・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。

また、高校卒業後も途切れることなく豊岡に興味を持ち続けてもらえるような情報を発信することでUターンを促進する。さらに、若者の交流を促進し、地域への愛着を深め、定住率の向上を図る。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

10,823 千円

(2) 事業内容

ア 「飛んでるローカル豊岡」運営及び情報発信
2,200千円

市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事やSNSで発信する。併せて、住まい、仕事、支援制度などの情報も発信する。



移住ポータルサイト
「飛んでるローカル豊岡」

イ 移住ポータルサイトの運営 502千円
「飛んでるローカル豊岡」及び
「TOYOOKA WORK STYLE（ジョブナビ豊岡）」の
保守管理及び修正・更新。



TOYOOKA WORK STYLE
（ジョブナビ豊岡）

ウ 民間サイトでの発信及びSNS広告 867千円
(ア) 移住スカウトサービス「スマウト」の活用
移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐウェブサービス「スマウト」を活用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口の増加を図る。

(イ) SNS広告等

「TOYOOKA WORK STYLE（ジョブナビ豊岡）」の認知度向上のため、企業情報や就職情報のSNS広告を配信する。

はたちを祝う会の公式LINEで式典終了後も継続して豊岡市の情報を発信する。



はたちを祝う会の公式LINE

エ 民間移住相談窓口の設置 3,408千円

移住相談と現地案内等の業務の一部を民間へ委託し、夜間及び休日での対応を行うなど、行政と連携・協力して移住を推進する。

オ 移住・就活イベントへの出展 501千円

潜在的な移住希望者が多い都市圏（東京・大阪）での移住イベントや大学主催の就活イベント等に出展し、豊岡の価値や魅力、仕事情報を伝え、豊岡への来訪や移住につなげる。

カ 若者事業 2,970千円

（（一社）地域総合整備財団〈ふるさと財団〉の
地域再生マネージャー事業補助2/3、市負担1/3）

若者のアイデアや思いを形にするための実践型
講座「TOYOOKAミライスイッチ」を実施する。

また、若手社会人、大学生、高校生を対象とした
交流イベントや豊岡市出身の21歳の方を対象とした
交流イベントを開催する。



キ 事務費 375千円

(3) 事業主体

豊岡市

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

(1) 子育てに優しいまち

(2) 経済が活性化するまち

(4) みんなで集えるまち

No.10	事業名 多文化共生推進事業	2026 年度 予算額	8,935 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態を達成するため、ライフステージに応じた情報提供・継続的な支援と、外国人市民も活躍できる取組みを推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

第2次豊岡市多文化共生推進プラン（2026～2030）に基づき、「コミュニケーション支援」「生活支援」「意識啓発と地域づくり」に取り組む。

(2) 事業期間

2026 年度～2030 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

45,740 千円

（地域未来交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

（市町日本語教育体制づくり事業補助金

補助率：交付対象額の 1/2）



多文化交流サロンの様子

3 2026 年度予算

(1) 予算額

8,935 千円

(2) 事業内容

ア 外国人相談窓口の設置 682 千円

(ア) 通訳員・ボランティア謝礼

(イ) 翻訳タブレット・アプリ利用料

イ 地域日本語教育の推進（在住外国人コミュニケーション支援事業） 6,460 千円

(ア) 支援団体への補助金

ウ 多文化共生推進プランの推進 1,355 千円

(ア) 各種研修会の開催

(イ) 小中学校への多文化共生教育の実施（支援団体への謝礼）

(ウ) 地域への多文化共生導入事業（支援団体委託、アドバイザリー業務委託）
（新規）

(エ) 多文化交流サロン等委託事業

エ 事務的経費 438 千円

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

(4) みんなで集えるまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.11	事業名	ワークイノベーション推進 事業	2026 年度 予算額	5,990 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市ワークイノベーション戦略に沿って、市内の事業所の働きがいと働きやすさの向上を図ることにより、女性が働き続けたい事業所を増やすとともに、それを可視化することにより、若い女性のU I ターンの増加、定着を図る。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

5,990 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

ア セミナー、ワークイノベーション推進会議の開催 2,786 千円

(ア) 女性マネジメント・リーダー層向けセミナー

(イ) ワークイノベーションセミナー

(ウ) 豊岡市ワークイノベーション推進会議の運営

（総会、事例発表、意見交換等、アドバイザー業務）

イ 働きやすさと働きがいに関する従業員意識調査 1,650 千円

ウ ワークイノベーション表彰の実施と取組支援 786 千円

(ア) 表彰審査員謝礼

(イ) 社労士等支援員謝礼

エ 市内事業所の従業員のメンター相談 100 千円

オ 事務的経費 668 千円



2025 年度豊岡市ワークイノベーション推進会議総会の様子

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

(2) 経済が活性化するまち

No.12	事業名	ジェンダーギャップ解消推進事業	2026 年度 予算額	5,350 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

職場、家庭、地域におけるジェンダーギャップを解消し、誰もが自分の意思で生き方を選択できる持続可能なまちをつくる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略後期計画（2026～2030）に沿って取組みを実施

(2) 事業期間

2026 年度～2030 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

26,750 千円（地域未来交付金 1 / 2）



オリジナル絵本「みらいへのつばさをひろげて」

3 2026 年度予算

(1) 予算額

5,350 千円

(2) 事業内容

ア ジェンダーギャップ解消戦略の進行管理、ジェンダー視点の主流化の推進 510 千円

(ア) ジェンダー平等推進アドバイザー謝礼

(イ) 豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議学識者謝礼

イ ジェンダーギャップ解消の必要性の理解拡大と意識改革、行動変革の促進 915 千円

(ア) 地域啓発推進アドバイザー謝礼

自治会、教職員などを対象に講演・ワークショップを実施

(イ) 校園長を対象としたジェンダー講演会講師謝礼

ウ 地域防災へのジェンダー視点の促進、女性参画の推進 719 千円

(ア) 地域啓発推進アドバイザー謝礼

(イ) ジェンダー防災ノート（仮）作成

エ 啓発ツールの整備・活用 1,230 千円

(ア) ラク家事育児コミュニケーションシート WS 協力者謝礼

(イ) オリジナル絵本出版・購入 **新規**

出版社を通じてオリジナル絵本を出版し、市内の保育園・認定こども園・幼稚園、小学校・中学校・義務教育学校等に配布し、読み聞かせや授業の一環として

絵本を使用しジェンダーを学べる環境を整備する。

- オ ジェンダーギャップ解消の進捗を測る定量的指標の策定 1,638 千円
GG 解消の定量化指標開発に向けた調査研究業務委託料 **新規**
ジェンダーギャップ解消の取組による地域の質的变化を定量化する取組
- カ 事務的経費 338 千円

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

(1) 子育てに優しいまち

(4) みんなで集えるまち

(6) とともに未来をつくる行政経営

No.13	事業名	子育て中の女性の就労促進事業	2026 年度 予算額	5,826 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

デジタルスキルを身につけ、自分らしく働く女性を増やすことで、経済的自立を後押しし、IT分野のジェンダーギャップ解消を目指す。

また、子育て支援総合拠点において、子育て中など働きたい女性の就職・起業・キャリア支援に取り組む。



女性のためのプログラミング教室 2025

2 2026 年度予算

(1) 予算額

5,826 千円（内閣府地域女性活躍推進交付金 3 / 4）
（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

ア 女性デジタル人材の育成及び出口戦略 4,452 千円

(ア) 女性デジタル人材育成・就労支援プログラムの開催

オンデマンドと対面を組み合わせた講座の実施から就労支援まで一貫して行い、経済的自立を支援する。

(イ) 女性のための ExcelVBA 講座の開催

デジタルスキルの習得を通じて女性従業員や子育てママのリスクリングとアップスキリングを支援する

イ 女性起業育成支援の実施 440 千円

無料一時保育付きの個別起業相談窓口を開設、起業セミナーを開催する。

ウ みらい応援 ROOM を活用した就労促進・経済的自立支援の実施 934 千円

WACCU TOYOOKA 内「みらい応援 Room」でこども一時預かり室などを活用し、女性を対象とした個別相談会やセミナーを実施する（テーマ：就職・起業・リスクリング・アップスキリング・チャレンジ・お金と未来）

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

(1) 子育てに優しいまち

(2) 経済が活性化するまち

No.14	事業名 多様性推進事業	2026 年度 予算額	1,321 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市では「多様な人たちがお互いを尊重し、認め合い、助け合うやさしいまち」を目指している。2025年3月には「豊岡市多様性推進方針」を定めた。この方針に基づいて、市のあらゆる事業計画や施策に多様性の視点を取り入れ「だれもが多様なちがいを理解し、公平・公正に扱われ、一体感を持って組織・社会に包摂されるまちづくり」を進める。



豊岡市多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会

2 2026年度予算

(1) 予算額

1,321千円（地域未来交付金1/2）

(2) 事業内容

ア 多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会の開催（4回程度）1,066千円
多様性視点を広げるための目標設定と評価方法の検討、ジェンダーギャップ解消戦略（後期計画）、第2次多文化共生推進プランの進行管理、「第5次男女共同参画プラン」の策定など

(ア) 多様性推進アドバイザー・多文化共生推進アドバイザー謝礼

田村 太郎 氏（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事）

(イ) ジェンダー平等推進アドバイザー謝礼

大崎 麻子 氏（Gender Action Platform 理事）

(ウ) 委員謝礼

イ 多様性に関する研修会の開催 150千円

見た目の、あるいは目に見えない「ちがい」は、属性や能力経験、価値観によるものなど様々であり、知識経験者を招いて、そうした理解を深める機会を設ける。

ウ 事務的経費 105千円

3 その他参考事項

多様性推進・ジェンダーギャップ対策検討委員会（同 部会）

ア 市民・事業者による委員 15名

（※ 多文化共生推進分科会7名、ジェンダーギャップ対策分科会8名）

イ 市の職員によるジェンダーギャップ対策・多文化共生推進部会 委員 13名

担当課名【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】（内線 2741）

(3) 安心安全なまち

(4) みんなで集えるまち

(6) とともに未来をつくる行政経営

No.15	事業名	子どもの医療費助成の拡充 (高校生等年代までに拡大)	2026 年度 予算額	276,049 拡充分扶助費 40,000	千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------------	-------------------	-----------------------------	----	----------------

1 事業目的（趣旨）

子どもの医療費助成制度を拡充し、子育て世帯の経済的負担の更なる軽減を図る。

2 全体の事業内容

(1) 拡充の内容

ア 小学4年生～中学3年生を対象としている外来診療に係る医療費助成の適用対象を高校生等年代までに拡大

イ 2026年6月30日までとしている時限付き特例措置（※）の時限撤廃

※ 1歳～小学3年生の助成対象に係る所得制限「なし」

【拡充後】2026年7月診療分～

	0歳	1歳～小3	小4～中3	高校生等
所得制限	なし	なし	市民税所得割額 23.5万円未満	
外来 自己負担額	0円		市民税所得割額 12万円以上 上限 300円	
			市民税所得割額 12万円未満 0円	
入院 自己負担額	0円			0円

(2) 事業期間

2026年7月～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026年度予算

(1) 予算額

276,049千円（県補助金 65,553千円、金銭信託運用利息 57,642千円）

ア 乳幼児等医療費助成事業（0歳～小学3年生） 全体事業費 153,810千円
（うち扶助費 149,000千円）

イ こども医療費助成事業（小学4年生～高校生年代） 全体事業費 122,239千円
（うち扶助費 119,300千円）

(2) 高校生等年代までに拡充が必要な扶助費

40,000千円

4 拡充の経緯

2023年7月～ 【4歳～小学3年生】 所得制限なし、外来自己負担額0円

2025年7月～ 【小4～中学3年生】 外来自己負担額

市民税所得割額 12万円以上 上限 300円

12万円未満 0円

担当課名【国保・年金課】（内線 2274）

(1) 子育てに優しいまち

No.16	事業名 地域福祉計画の策定	2026 年度 予算額	5,641 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2022年3月に策定した「豊岡市地域福祉計画」については、2026年度末をもって計画期間が終了することから、次期計画（計画期間 2027年度～2031年度）を策定し、地域福祉の推進を図る。

なお、本計画は、豊岡市の行政計画と豊岡市社会福祉協議会の行動計画を一体的に策定するものである。

2 全体の事業内容

(1) 事業内容

- ア 地域福祉計画策定・推進委員会の設置（会議は6回を予定）
- イ 地域福祉計画策定にかかる作業部会の設置
- ウ 地域福祉計画策定・推進に係るアドバイザーの配置
- エ 市民アンケートによる現状把握、シビックとよおかとグループインタビューによる意見聴取

(2) 事業期間

2025年度～2026年度

(3) 事業主体

豊岡市・豊岡市社会福祉協議会

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

5,767千円

（事業費の1/2相当を豊岡市社会福祉協議会が負担）



（現計画の冊子）

3 2026年度予算

(1) 予算

5,641千円（事業費の1/2相当を豊岡市社会福祉協議会が負担）

(2) スケジュール

- 2026年4月～11月 グループインタビュー、
計画素案の検討等
- 12月 計画案の作成
- 2027年2月 パブリックコメントの実施
- 3月 計画策定



（策定委員会の様子）

担当課名 【社会福祉課】（内線 3001）

(3) 安心安全なまち

No.17	事業名 障害者福祉計画の策定	2026 年度 予算額	6,377 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2021年2月に策定した「障害者計画」及び2024年3月に策定した「第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」については、2026年度末をもって計画期間が終了することから、次期計画を策定し、障害者・児の福祉の推進を図る。

2 2026年度予算

(1) 事業内容

ア 計画の期間

(ア) 障害者計画

2027年度～2032年度（6年間）

(イ) 障害福祉計画、障害児福祉計画

2027年度～2029年度（3年間）

イ 計画の内容

(ア) 現計画の評価

(イ) 障害福祉に関する基本的施策

(ウ) 障害者福祉サービス、障害児通所支援等の必要量の見込みと確保のための方策

(エ) 地域生活支援事業の種類ごとの実施に関する事項



（策定・推進委員会の様子）

(2) 事業主体

豊岡市

(3) 予算額

6,377千円



（グループインタビューの様子）

3 その他参考事項

スケジュール

2026年5月～	障害者福祉計画策定委員会の開催（5回程度）
6月～8月	アンケート調査、グループインタビューの実施
8月～12月	計画素案の検討
12月	計画案の作成
2027年1月	パブリックコメントの実施
3月	計画策定

担当課名 【社会福祉課】（内線 3001）

(3) 安心安全なまち

No.18	事業名	とよおか健康ぷらん21の策定	2026 年度 予算額	4,324 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市では、健康増進法に基づく、「豊岡市健康行動計画」、食育基本法に基づく「豊岡市食育推進計画」及び自殺対策基本法に基づく「いのち支える豊岡市自殺対策計画」の3つの計画を「とよおか健康ぷらん21」と総称し、事業推進に取り組んでいる。

これらの3つの計画は、2027年度をもって計画期間が終了するため、次期計画を策定する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

計画の期間及び内容

ア 豊岡市健康行動計画（第3次）

2028年度～2037年度（10年間）

健康増進法第8条第2項に基づき、長寿社会の構築に向けて、市民が健康で生きがいを持って暮らすことができるまちをつくるために、市民、関係団体及び市が取り組むべき基本的な施策

イ 豊岡市食育推進計画（第4次）

2028年度～2032年度（5年間）

食育基本法第18条の規定に基づき、市の食育推進の基本的な考え方を示すとともに、市民が食を通じて、心身の健康を確保していくための食生活に関する基本的な施策

ウ いのち支える豊岡市自殺対策計画（第3次）

2028年度～2032年度（5年間）

自殺対策基本法第3条、第13条に基づき、地域の実情を勘案して、地域自殺対策をさらに推進するための基本的な施策

(2) 事業期間

2026年度～2027年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026年度予算

(1) 予算額

4,324千円

(2) 事業内容

ア 市民アンケート（住民意識調査）の実施

乳幼児、小学校5年生、中学2年生、成人を対象にしたアンケート調査の実施（6月～7月）

イ 市民意識調査の分析・評価、次期計画の方向性の検討

市民アンケートの結果を踏まえ、専門的知識を有するアドバイザーの支援を受け、現計画の評価と次期計画の方向性を検討する。

4 その他参考事項

スケジュール

2026年6月～7月	市民アンケートの実施
8月～10月	市民アンケート調査結果の集計と分析・評価
10月～	アドバイザーの助言も受け、計画素案を作成
2027年2月～	健康づくり推進協議会の開催（5回程度）
11月	パブリックコメントの実施
2028年3月	計画策定



(玄さん元気教室の様子)



(豊岡市自殺予防対策市職員研修会の様子)

担当課名【健康増進課】（内線 3101）

(3) 安心安全なまち

No.19	事業名	公立豊岡病院組合への財政支援	2026年度 予算額	1,913,500 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	---------------	--------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

公立豊岡病院組合は、近年の物価・人件費の高騰等により、極めて厳しい経営状況に直面している。今後、対策を講じなければ2025年度末には起債許可団体となる見込みである。さらに、抜本的な対策を講じなければ、2026年度末には経営健全化団体へ移行する可能性が高い状況である。

そのため、公立豊岡病院から構成市（豊岡市、朝来市）に対して、25億円の財政支援を求められており、緊急措置として貸付という形で財政支援を行う。

なお、公立豊岡病院組合では構造改革委員会*を設置し、資金収支を含めた抜本的な経営改革を進めている。

2 2026年度予算

(1) 内容

公立豊岡病院組合に対し長期貸付を行う。

(2) 予算額

1,913,500千円

(3) 貸付内容

ア 貸付期間：長期貸付（期間は検討中）

イ 貸付金額及び構成市負担割合

	分担率	貸付金額
豊岡市	76.54%	1,913,500千円
朝来市	23.46%	586,500千円
計	100%	2,500,000千円

(4) 事業主体

豊岡市、朝来市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 構造改革委員会*

経営の抜本的な立て直しを図るためには、現状の延長線上ではなく圏域の医療需要を踏まえた、これまでにない構造改革を実施する必要があることから、その方向性等を検討するための有識者等で構成する委員会

(2) 委員構成

有識者、医療関係者及びその他専門知識を有する者等

(3) 構造改革委員会の開催スケジュール

- ・2026年1月 構造改革委員会立ち上げ
- ・2026年2月12日 第1回委員会開催
- ・2026年4月以降 概ね2か月に1回開催
- ・2027年3月 一定の報告（方向性）まとめ
- ・2027年4月以降 必要に応じ継続検討

担当課名 【健康増進課】（内線 3101）

(3) 安心安全なまち

No.20	事業名	RSウイルスワクチンの定期接種化	2026 年度 予算額	11,148 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2026年4月1日から妊婦に対するRSウイルス（母子免疫）ワクチンが定期接種化されることに伴い、対象者が自己負担なしで接種できるようにする。

対象の妊婦にワクチン接種を行い、母体を通じて免疫を獲得することで、新生児及び乳児におけるRSウイルスを原因とする下気道疾患の予防を図る。

※ RSウイルス感染症：風邪のような症状が数日続き、重症化した場合は細気管支炎や肺炎などを起こす。生後6か月以内の新生児・乳児への感染や低出生体重児などは重症化の可能性が高い。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 対象者

妊娠28週0日から36週6日の妊婦 約330人

イ 接種回数

妊娠ごとに1回

ウ 接種方法

市内協力医療機関に予約し、母子手帳を持参のうえ接種。

※事前申請により、市外での接種も可。ただし、助成上限額あり。

(2) 事業期間

2026年4月1日～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026年度予算

(1) 予算額

11,148千円（地方交付税措置90%）

(2) 事業内容

ア 需用費（ワクチン代）	9,300千円
イ 接種委託料	1,465千円
ウ 扶助費（市外接種償還払）	337千円
エ 事務費等	46千円



4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

接種に必要な予診票については、母子手帳交付時に配布する。

すでに母子手帳を交付済の対象者へは、3月末に予診票を郵送する。

担当課名【こども未来課】（内線2571）

(1) 子育てに優しいまち

No.21	事業名	特定不妊治療の治療費、交通費助成	2026年度 予算額	11,295 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------	---------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市では、2022年度から特定不妊治療（生殖補助医療・先進医療）費の自己負担額を軽減するため助成を行っている。しかし、但馬管内に当該治療を実施する医療機関がないため、治療を受ける方は遠方の医療機関を数回にわたり受診する必要があり、通院に要する交通費も大きな負担となっている。

そのため、新たに交通費の助成をすることで、こどもをほしい方の経済的負担をさらに軽減する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 治療費助成 継続

(ア) 対象者

- ・特定不妊治療（生殖補助医療）の治療期間および申請日に豊岡市に住民票のある夫婦（事実婚含む）
- ・治療期間の初日における妻の年齢が43歳未満

(イ) 助成内容

治療1クール（開始～終了まで）の治療費の1/2を助成する。

※治療区分ごとに25千円～300千円の上限額あり。

イ 交通費助成 新規

(ア) 対象者

最寄りの特定不妊治療実施施設（生殖補助医療または精巣内精子採取術の届出医療機関）まで概ね60分以上の移動時間を要する夫婦（事実婚含む）

(イ) 助成内容

移動に要した交通費の8割程度を助成する。

*ただし、国県補助制度の詳細を見極めて決定

(2) 事業期間

ア 治療費助成 2022年度～

イ 交通費助成 2026年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026年度予算

(1) 予算額

11,295千円（扶助費）

(2) 事業内容

ア 治療費助成 7,500千円

イ 交通費助成 3,795千円（国511千円、県255千円、市3,029千円）

担当課名【こども未来課】（内線2571）

(1) 子育てに優しいまち

No.22	事業名	子育て支援施策等の情報発信	2026 年度 予算額	1,864 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市が「子育てに優しいまち」であることを市内外の人たちに実感してもらうため、子育てサービスや子育て・教育に関する先進的な取組等について戦略的に情報発信を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

本市の子育て支援や子育て・教育に関する先進的な取組等を市内外に効果的に、わかりやすく伝えるため、マンガや動画を活用し、市ホームページ、市公式 LINE、インスタグラム等で情報発信を行う。

(2) 事業期間

2026 年度～

(3) 事業主体

豊岡市



3 2026 年度予算

(1) 予算額

1,864 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

ア 業務委託料 1,392 千円

イ 需用費（市広報掲載料） 472 千円

担当課名【こども未来課】（内線 2571）

(1) 子育てに優しいまち

No.23	事業名	芸術文化観光専門職大学との連携推進事業	2026 年度 予算額	11,419 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市における地方創生の大きな推進力として期待される「芸術文化観光専門職大学」が有する機能や多様な専門の人材の知見を最大限活用し、協働して地域課題の解決を図るとともに、学生が地域に溶け込み様々な活動を実践し、活躍できるよう支援することで、新たな価値の創造や地域への定着を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 地域連携事業

地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。

イ 就職・定住支援

専門職大学生の市内就職及び定住を促す機会を設ける。

(2) 事業期間

ア 2021 年度～

イ 2023 年度～

(3) 事業主体

豊岡市



八代小学校連携事業

3 2026 年度予算

(1) 予算額

11,419 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

ア 地域連携事業

(ア) 高大連携事業

(イ) 八代小学校連携事業

(ウ) 子どもの居場所づくりのための意識調査事業

(エ) 竹野魅力再発見事業

(オ) ワークイノベーション推進事業 新規

(カ) 城崎国際アートセンター多角価値評価研究事業 新規

(キ) 出石次世代地域リーダー育成事業 新規

イ 就職・定住支援

学生がキャリアについて考える機会を設ける。

担当課名 **【観光政策課】**（内線 2321）

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.24	事業名 国内観光客の誘客促進	2026 年度 予算額	21,508 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

大交流ビジョンの実現に向けて、認知向上と誘客促進を図り、市内宿泊者数及び観光消費額の増加につなげる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

豊岡ツーリズム協議会、（一社）豊岡観光イノベーションと連携し、誘客促進のためのプロモーション、体験コンテンツの造成、市内周遊促進等を図る。

また、豊岡観光DX基盤、各オンライン旅行代理店の宿泊予約データ、来訪者アンケート、携帯電話位置情報ビッグデータなど、様々なデータを収集・分析することで、客観的根拠に基づくプロモーションやマーケティングを行い、観光客数や宿泊者数の増加につなげる。

さらに、観光を切り口としたシビックプライドの醸成を目指し、市民満足度調査を実施する。

(2) 事業期間

2015 年度～

(3) 事業主体

豊岡市、豊岡ツーリズム協議会、（一社）豊岡観光イノベーション

3 2026 年度予算

(1) 予算額

21,508 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

ア 観光施策に係る評価指標データ収集業務

イ 「TOYOOKA_CITY_Free_WiFi」 公衆無線 LAN 運用業務

ウ 観光地経営の推進（（一社）豊岡観光イノベーション事業）

エ メディア・旅行エージェント招聘事業（豊岡ツーリズム協議会事業）

オ 観光地消費拡大推進業務（「豊岡旅幸券」のプロモーション）



担当課名 【観光政策課】（内線 2321）

(2) 経済が活性化するまち

No.25	事業名 観光まちづくり推進事業	2026 年度 予算額	47,948 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

（一社）豊岡観光イノベーションを中心に、幅広い人材を登用し「大交流ビジョン」の実現を図る。また、地域間競争に勝ち抜くための実効性のある施策の実施に向けた持続可能な推進体制を構築する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 民間企業から専門的な知識や経験、人脈を持った人材を受け入れ、市や（一社）豊岡観光イノベーションに配置する。
- イ （一社）豊岡観光イノベーションに対し、マーケティング等の知見を有するアドバイザーやプロパー人材の配置を支援するなど、推進体制の強化を図る。
- ウ 観光自主財源の導入に向けた検討を継続して実施する。

(2) 事業期間

2015 年度～

(3) 事業主体

豊岡市、（一社）豊岡観光イノベーション

3 2026 年度予算

(1) 予算額

47,948 千円（地域未来交付金 1 / 2）

(2) 事業内容

- ア 企業人の配置（地域活性化起業人制度を活用）
- イ 深さをもった演劇のまちづくり推進コーディネーターの配置
- ウ （一社）豊岡観光イノベーションへのアドバイザー、プロパー人材の配置支援及び市職員の派遣
- エ 観光自主財源の導入に向けた検討
 - (ア) 事業者及び市民向け説明会の開催
 - (イ) 財源の管理、運用体制の構築
 - (ウ) 観光自主財源導入計画の策定



豊岡市観光自主財源検討委員会の様子

担当課名 【観光政策課】（内線 2321）

(2) 経済が活性化するまち

No.26	事業名 海外戦略推進事業	2026 年度 予算額	24,477 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2025年に10万人を超えた訪日外国人客をさらに伸ばしていくため、海外における豊岡市の認知度を向上させ、地域の魅力を的確に伝え、誘客につなげる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ターゲット市場（欧米豪と台湾等）の個人旅行に焦点をあてたWEBマーケティングや、旅行商品造成の促進、海外エージェントへの営業等を（一社）豊岡観光イノベーションと連携して実施する。

(2) 事業期間

2013年度～

(3) 事業主体

豊岡市、（一社）豊岡観光イノベーション



海外エージェントとの商談会

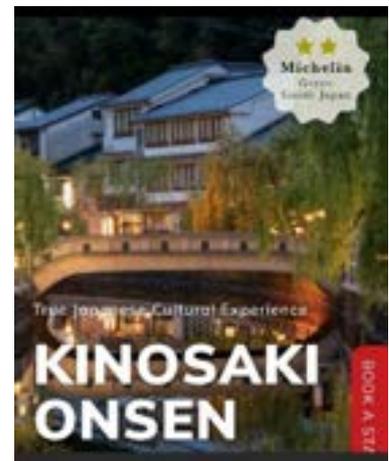
3 2026年度予算

(1) 予算額

24,477千円（地域未来交付金1/2）

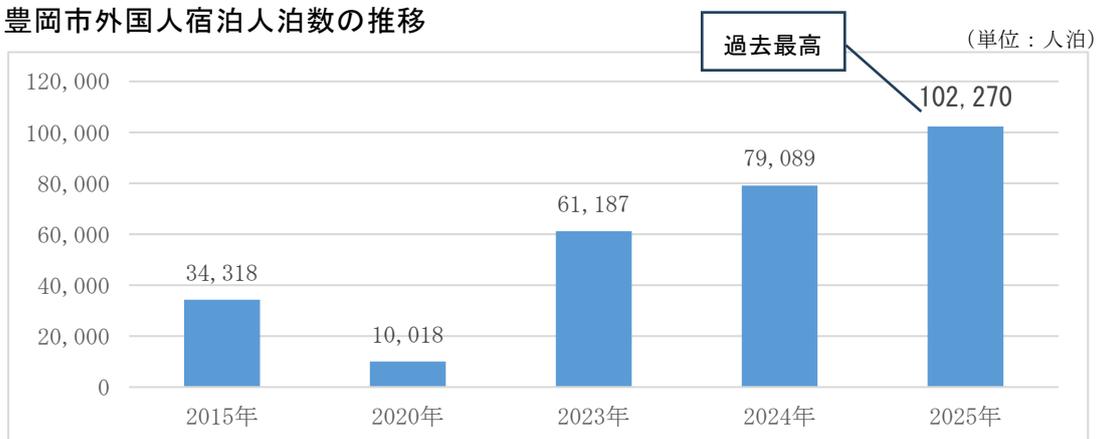
(2) 事業内容

- ア 外国人スタッフの配置（JETプログラムを活用）
- イ インフォメーションカウンター運營業務
- ウ 豊岡市外国語版ホームページ管理業務
- エ 海外誘客の推進（（一社）豊岡観光イノベーション事業）
 - (ア) ICTを活用した誘客推進及び消費拡大事業
 - (イ) インバウンド対応の充実に向けた事業者支援



豊岡市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」

4 豊岡市外国人宿泊人泊数の推移



担当課名 【観光政策課】（内線 2321）

(2) 経済が活性化するまち

No.27	事業名 豊岡演劇祭協同開催事業	2026 年度 予算額	42,545 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市を国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。また、演劇祭をまちづくりの課題解決に向けたトライアルの場と位置づけ、演劇祭を通じた持続可能なまちづくりを推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

豊岡演劇祭は、観光やまちづくりと連動した回遊型の演劇祭。豊岡演劇祭 2025 から新たに新温泉町が加わり、但馬全域での開催が実現した。

(2) 事業期間

2019 年度～

(3) 事業主体

豊岡演劇祭実行委員会

【構成団体】

NPO 法人コミュニティアートセンタープラッツ、（一社）豊岡観光イノベーション、豊岡ツーリズム協議会、豊岡商工会議所、豊岡市商工会、兵庫県但馬県民局、豊岡市

3 2026 年度予算

(1) 予算額

42,545 千円（地域未来交付金 1/2、地域の文化・芸術活動助成金 2/3）

(2) 事業内容

ア 豊岡演劇祭 2026 の開催支援

(ア) 日程 2026 年 9 月 18 日（金）～27 日（日）

(イ) 会場 豊岡市民プラザ、芸術文化観光専門職大学、城崎国際アートセンター他

(ウ) 演目 公式プログラム、フリンジプログラム、連携プログラム他

イ 豊岡演劇祭実行委員会の運営（総会の開催、事務局業務）



豊岡演劇祭 2025

『フェスティバルナイトマーケット』

©トモカネアヤカ



豊岡演劇祭 2025

『うみやまむすび夢十夜 こんな夢を見た！！の旅』

©igaki photo studio

担当課名 【観光政策課】（内線 2321）

(2) 経済が活性化するまち

No.28	事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催事業	2026 年度 予算額	7,840 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

“世界から豊岡に 本物の響きと感動を 子どもたちへ”というスローガンのもと、子どもたちが世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながら世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てるとともに、まちのあらゆる場所で音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しめるまちづくりを目指す音楽祭で、2014年度から実施し、2026年度で12回目の開催となる。

2 2026年度予算

(1) 予算額

7,840千円（文化芸術創造拠点形成事業補助金1/2）

(2) 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

(3) 事業内容

ア 開催期間

2026年5月24日（日）～31日（日）の8日間

イ 企画内容

- (ア) 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ・未就学児親子向け）
- (イ) 学校園訪問コンサート（小学校4校、保育園等4園、特別支援学校1校）
- (ウ) 街角コンサート 4か所
- (エ) 稽古堂プレミアムキッズコンサート
- (オ) 稽古堂イブニングコンサート（演奏者は日替わり） 等

ウ 出演者

- (ア) アンサンブル・ストークス（管弦楽4名）
- (イ) シュバシコウ・カルテット（弦楽4名）
- (ウ) こうのとり・クインテット（木管5名）
- (エ) 碓井俊樹（ピアノ兼音楽監督）
- (オ) 大江慧（チェロ） 他

（企画内容及び出演者は調整中のため、変更になる可能性がある。）



当課名【文化・スポーツ振興課】（内線 2768）

(1) 子育てに優しいまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.29	事業名 文化芸術創造交流事業	2026 年度 予算額	6,207 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市内各地域の特徴・資源を生かした多彩な文化芸術プログラムを「豊岡アートシーズン」という枠組みで一体的に展開することにより、「文化芸術のまち豊岡」のイメージを市内外に発信し、豊岡の魅力と豊岡に暮らすことの価値を高める。また、子どもたちが豊岡に居ながらにして世界とつながることができ、豊岡でしか体験できない文化芸術事業を通して、豊岡に暮らすことの価値を高めるとともに、豊岡で暮らしたいと考える若い世代を育てる。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

6,207 千円（文化芸術創造拠点形成事業補助金 1/2）
（地域未来交付金 1/2）

(2) 事業内容

ア 委託料 5,984 千円

(ア) 双方向型子ども向け演劇『ちっちゃい姫とシャベルン博士』 3,588 千円

子どもたちが間近で演劇を楽しむ機会を創出するとともに、日常への新たな視点を盛り込んだストーリー展開から、身近な物事に対して新たな興味を抱くきっかけを提供し、感性や知的好奇心の育成を図る。

(イ) 出石永楽館狂言鑑賞教室 2,290 千円

県指定文化財である「出石永楽館」において、日本の伝統芸能「狂言」の鑑賞教室を実施する。

(ウ) 「Toyooka Art Season」広報事業 106 千円

2025 年 10 月にリニューアルした「Toyooka Art Season」のホームページにて、官民間問わず市全体の文化芸術事業の一体的な広報を行う。

イ その他事務経費 223 千円(会場借上料等)

(3) 事業主体

豊岡市



3 その他参考事項

豊岡アートシーズン 2026 年度の主要プログラム ※日程等は変更の可能性あり

No.	プログラム	開催日程	開催場所	所管課
①	『ちっちゃい姫とシャベルン博士』	11月	市内小学校	文化・スポーツ振興課
②	出石永楽館狂言鑑賞教室	11月19・20日	出石永楽館	〃
③	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぶの祭典」	5月24日～5月31日	市内各所	〃
④	小中高生舞台芸術体験講座	5月～8月	豊岡市民プラザ	地域づくり課
⑤	市民舞踏創造事業	6月～9月	豊岡市民プラザ	〃

担当課名【文化・スポーツ振興課】（内線 2768）

(1) 子育てに優しいまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.30	事業名	城崎国際アートセンター事業	2026 年度 予算額	26,595 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

- (1) 公募により選考された国内外からの滞在アーティストが、滞在中に行った文化芸術創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。
- (2) 専門的な知識を有する人材を配置し、運営体制の強化に努める。
- (3) 文化芸術の国際的戦略拠点として芸術活動を推進するとともに、地域との連携及び情報発信を強化する。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

26,595 千円

(アーティスト・イン・レジデンス型地域協働支援事業補助金 4,000 千円)

(地域未来交付金 1 / 2)

(2) 事業内容

ア アーティスト・イン・レジデンス事業 7,992 千円

- (ア) 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」募集・選考
滞在アーティストを募集、選考委員会を開催し、年間計画をまとめる。
- (イ) 地域交流プログラム実施、舞台操作等レジデンス支援
滞在期間中に地域住民等との交流活動を実施し、滞在制作の支援を行う。
- (ウ) アーティスト・イン・レジデンス プログラム事業PR
滞在制作及び活動状況PRをはじめ年間プログラムを作成する。
- (エ) アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた地域協働支援事業
アーティストが地域に滞在し、地域住民と共に創作活動を行うことで、地域の文化・芸術振興や活性化を図る。

イ 芸術監督等の採用、アートマネジメント等業務 13,905 千円

次のスタッフを配置する。

- (ア) 芸術監督 市原 佐都子（非常勤）
- (イ) プログラムディレクター、アートコーディネーター等（業務委託）

ウ パフォーミングアーツによる集落活性化業務 4,500 千円

地域コーディネーターを配置して、地域の現状と課題を認識し、地域に関心を持ったアーティストの視点を使い、地域資源を活用するなど、課題解決策や地区の活性化を図る業務を行う。

エ 芸術文化情報発信事業 198 千円

ウェブサイトを通じて情報発信に努め、城崎国際アートセンター事業の周知及び賛同を呼びかける。

- (3) 事業主体
豊岡市

3 その他参考事項

アーティスト・イン・レジデンス事業 2025年度プログラム 様子写真



温 又柔 + Jang-Chi + ネス・ロケ + リー・ミンチェン (李 銘宸) + KYOTO EXPERIMENT 「Cruising: Traveling Tongues」 試演会の様子 (2025年5月) Photo by bozzo

パフォーマンスアートによる集落活性化イベント (2025年12月18日～20日)
「城崎国際アートセンターと波田野州平の映画寄席～竹野巡礼の三日間～」



担当課名【文化・スポーツ振興課】 (32-3888)

(2) 経済が活性化するまち

(4) みんなで集えるまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.31	事業名	全国高等学校総合体育大会 の登山競技及びカヌー競技 の開催	2026 年度 予算額	6,570 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

全国高等学校総合体育大会は、高等学校教育の一環として高校生（中等教育学校後期課程を含む）に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的として開催され、本市では登山及びカヌー競技を受け入れる。

競技の開催を通じて、本市の魅力を全国に発信し、交流人口拡大やスポーツツーリズムの推進を図る。

なお、登山競技が本市で開催されるのは、2009（平成 21）年以来 17 年ぶりで、カヌー競技は初めてとなる。



〈2025 年度 登山競技〉

2 全体の事業内容

(1) 事業期間

2025 年度～2026 年度

(2) 事業主体

（公財）全国高等学校体育連盟、兵庫県、豊岡市ほか

(3) 全体事業費

8,115 千円



〈2025 年度 カヌー競技〉

3 2026 年度予算

(1) 予算額

6,570 千円

(2) 事業内容

ア 登山競技

(ア) 日程 8 月 6 日（木）～10 日（月）

(イ) 内容

a 8 月 6 日（木）

開会式（日高文化体育館）

b 8 月 6 日（木）～9 日（日）

競技（氷ノ山・鉢伏山・蘇武岳）、
植村直己冒険館見学

c 8 月 10 日（月）

閉会式（日高文化体育館）

イ カヌー競技

(イ) 日程 7 月 31 日（金）～8 月 4 日（火）

(イ) 内容

a 7 月 31 日（金）

開会式（兵庫県立円山川公苑）

b 8 月 1 日（土）～4 日（火）

競技（兵庫県立円山川公苑特設カヌー競技場）

c 8 月 4 日（火）

閉会式（兵庫県立円山川公苑）

4 その他参考事項（来訪者数等）

(1) 登山競技 選手、監督・コーチ等 約 470 名（参加校数約 90 校）

(2) カヌー競技 選手、監督・コーチ等 約 800 名（参加校数約 150 校）

担当課名【文化・スポーツ振興課】（内線 2791）

No.32	事業名	城崎ボートセンター常設棧橋の改修	2026 年度 予算額	5,796 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

城崎ボートセンター常設棧橋（2004年整備）について、整備から20年以上が経過し、経年劣化が進んでいるため、改修を行い、ボート競技の拠点施設としての機能を維持するとともに競技力の向上を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

城崎ボートセンター常設棧橋改修

(2) 事業期間

2026年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

46,000千円

3 2026年度予算

(1) 予算額

5,796千円（過疎対策事業債100%）

(2) 事業内容

常設棧橋更新設計業務



城崎ボートセンター常設棧橋全景

担当課名【文化・スポーツ振興課】（内線 2791）

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.33	事業名 文化会館の整備	2026 年度 予算額	166,973 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市の文化芸術活動拠点である豊岡市民会館と出石文化会館（ひぼこホール）を統合し、豊岡市民会館を長寿命化・機能向上改修することにより、都市機能として必要な文化会館を維持し、もって豊岡で暮らすことの価値と魅力を高めることを目的とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 豊岡市民会館（ホール棟、会館棟）の長寿命化及び機能向上改修
- イ 豊岡市民会館歩道橋の長寿命化改修
- ウ 総合体育館隣接地の整備

(2) 事業期間

2025年度～2030年度（予定）

(3) 事業主体

豊岡市



3 2026年度予算

(1) 予算額

166,973千円

(2) 事業内容

2026年1月に策定した「豊岡市民会館リニューアル基本計画」に基づき基本設計に着手するとともに、総合体育館南側隣接地の整地工事及びリニューアルオープン後を見据えた利用促進策として広報活動等を実施する。

- ア 長寿命化改修基本設計 77,000千円（2025年度債務負担行為設定）
- イ 周辺整備工事 85,000千円（2025年度債務負担行為設定）
- ウ 豊岡市民会館再開後の利用促進策（資料整理・広報等）
3,710千円
- エ その他事務経費 1,263千円

担当課名【新文化会館整備推進室】（内線2776）

(1) 子育てに優しいまち

(4) みんなで集えるまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.34	事業名 有害鳥獣駆除対策 (クマ防除対策、狩猟スクール、鹿肉活用)	2026 年度 予算額	6,320 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

野生動物による農作物被害を軽減するため、市有害鳥獣捕獲班と連携し、シカやイノシシ等の有害鳥獣捕獲を進めているが、捕獲班員の高齢化や捕獲された個体の資源活用などが課題となっている。

また、2025年5月には但東町でクマによる人身事故が発生するなど、市民の安心安全を守るためにも、クマ出没への対策が急務となっている。

これらの課題に対応するため、①若手狩猟者の育成、②捕獲個体のジビエ等への利活用促進、③クマを人里に寄せ付けないための不要果樹の伐採などに取り組む。

2 2026年度予算

(1) 内容及び予算額

ア 豊岡狩猟スクール開校事業 新規

(ア)内 容：ベテラン捕獲班員による新人ハンターへの指導及び技術の継承により、有害鳥獣駆除を担う新たな人材の確保・育成を図る。

〈事業の詳細〉

- ・講習会の開催（わな猟、銃猟、止め刺し方法など）
- ・わな設置個所の見回り、現地での実技指導など

(イ)事業主体：豊岡市（市有害鳥獣捕獲班に委託して実施）

(ウ)予 算 額：1,320 千円

イ シカ肉利活用促進事業 新規

(イ)内 容：山中等で捕獲された個体を出張回収し、市内の鳥獣解体処理施設に搬入することで、地域資源としてのジビエ利活用を促進する。

〈事業の詳細〉

- ・有害捕獲されたシカの出張回収及び市内の鳥獣解体処理施設への搬入業務
3,000 円/頭（搬入目標：1,000 頭）

※ 搬入先：鳥獣利活工房（竹野町森本）、安倍商会（出石町奥山）、やしろのめぐみ（日高町八代）

(イ)事業主体：豊岡市（市有害鳥獣捕獲班に委託して実施）

(ウ)予 算 額：3,000 千円

ウ 不要果樹伐採事業

(ウ)内 容：集落からの要望に基づき、クマを呼び寄せる要因となっている未利用の柿や栗などの不要果樹を伐採し、集落への出没リスクを低減する。

(イ)事業主体：豊岡市（市内の林業事業体に委託して実施）

(ウ)予 算 額：2,000 千円（20 千円/本×100 本）



市内林業事業体による不要果樹伐採

担当課名 **【農林水産課】**（内線 2361）

(3) 安心安全なまち

No.35	事業名 治山事業の実施	2026 年度 予算額	53,200 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

山地荒廃地における山腹崩壊対策を実施し、山地災害を防止する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 県単独補助治山事業 山腹崩壊対策工事
- イ 市単独治山事業 落石防護柵設置工事
山腹崩壊対策工事
調査測量設計業務

(2) 事業期間

- ア 県単独補助治山事業 2026 年度
- イ 市単独治山事業 2026～2027 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

- ア 県単独補助治山事業 17,400 千円
(治山事業補助金 2/3、地元負担金 1%、緊急自然災害防止対策事業債)
- イ 市単独治山事業 35,800 千円
(地元負担金 1%、緊急自然災害防止対策事業債)



2025 年度 県単独補助治山工事
施工箇所：出石町袴狭 地内
事業内容：重力式擁壁、植生マット工

3 2026 年度予算額及び事業内容

(1) 県単独補助治山事業

[但東：唐川地区/山腹崩壊対策工事] 17,400 千円
重力式擁壁、植生マット工

(2) 市単独治山事業

- [城崎：桃島地区/山腹崩壊対策工事] 17,400 千円
重力式擁壁、落石防護柵工
- [竹野：森本地区/落石防護柵設置工事] 10,700 千円
落石防護柵工
- [竹野：西町地区/山腹崩壊対策工事] 500 千円
崩土撤去、法面整形工
- [出石：和屋地区/山腹崩壊対策工事] 500 千円
崩土撤去、植生シート工
- [但東：正法寺地区/調査測量設計業務] 6,200 千円
山腹崩壊対策詳細設計
- [但東：天谷地区/山腹崩壊対策工事] 500 千円
崩土撤去、法面整形工

担当課名 【農林水産課】（内線 2391）

(3) 安心安全なまち

No.36	事業名 森林環境整備事業	2026	82,943 千円	新規 拡大 継続
		年度 予算額		

1 事業目的（趣旨）

豊岡市森林・林業ビジョンの4つの柱「森林整備の推進」「人材の確保と育成」「木材の利用」「人と森林のつながり」に基づき、森林環境譲与税を活用し、森林整備及びその促進に関する事業を展開する。

2 2026 年度予算

(1) 主な内容及び予算額

ア 自伐型林業推進事業補助金 新規

(ア)内 容：森林の公益的機能の維持増進及び地域林業の振興を図るため、自伐型林業事業者が行う作業道開設等に要する費用を支援する。

〈補助対象経費〉

- ・作業道開設（幅員 1.5m～2.5m） 補助率：1,500 円/m～2,000 円/m
- ・路面整備（幅員 1.5m～2.5m） 補助率：150 円/m～200 円/m
- ・林業機械リース 補助率：1/2

(イ)事業主体：自伐型林業事業者

(ウ)予 算 額：10,000 千円



作業道開設の様子

イ 自伐型林業推進事業

(ア)内 容：国の地域力創造アドバイザー制度を活用して外部専門家を招聘し、自伐型林業の普及及び自伐型林業事業者の育成を図る（自伐型林業体験研修及び施業研修の実施など）。

(イ)事業主体：豊岡市

(ウ)予 算 額：9,210 千円

（特別交付税措置 1,807 千円）

（森林環境譲与税 7,403 千円）



チェーンソーの取扱・伐採の様子

ウ モデル森林整備事業

(ア)内 容：市の森林整備プランに基づき、経済や防災の観点から但東町坂津の森林整備を行う。また、加陽地区において、森林の持つ多面的機能の増進及びコウノトリ等多様な生きものの生息空間に配慮した森林整備を進める。

(イ)事 業 量：但東町坂津：森林整備（5.7ha）

加陽：施業予定地での意向調査 等

(ウ)事業主体：豊岡市

(エ)予 算 額：12,813 千円

エ 森林環境保全対策事業補助金

(ア)内 容：危険木の伐採や小規模な森林整備等に要する費用を支援する。

(イ)事業主体：区（自治会）等

(ウ)予 算 額：12,000 千円（補助率 2/3、上限額 1,300 千円、下限額 200 千円）

オ 獣害対策緩衝帯森林整備事業補助金

(ア)内 容：里山の適正な管理を促し、頻発する農作物や森林植生等の獣害を軽減するための緩衝帯整備に要する費用を支援する。

(イ)事業主体：区（自治会）等

(ウ)予 算 額：25,000 千円



緩衝帯整備が行われた森林
(2025 年度 森尾地内)

カ J-クレジット制度への登録

(ア)内 容：市行造林事業（市有林整備）によって創出される CO2 吸収量の J-クレジット化に向けて必要となるプロジェクト登録及びモニタリング報告書の作成準備を行う。

(イ)事業主体：豊岡市

(ウ)予 算 額：3,616 千円

キ 人と森林のつながり推進事業

(ア)内 容：多様なステークホルダーと連携し、市内の森林での活動の活性化と市内産木材の普及啓発を図る。

(イ)事業主体：豊岡市

(ウ)予 算 額：7,000 千円



本物の家づくりを体験する小学生たち
(みんなの建築学校)



森の中で絵本の読み聞かせ
(親子で森ごはんさんぽ)

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

(2) 経済が活性化するまち

No.37	事業名	ふるさと応援寄附金の推進	2026 年度 予算額	850,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

ふるさと納税の推進により自主財源の確保を図るとともに、本市のPR及び本市特産品等の返礼を通じ市内経済活性化へ寄与する。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

850,000 千円

(2) 事業内容

- ア 寄附申込受付、寄附金受領証明書等の送付
- イ 寄附金の一部を返礼品等の事務的経費に充当し、残額を地域振興基金等に積立て、翌年度以降に寄附者の意向に沿った事業に有効活用する
- ウ 返礼品に係る事業
- エ ふるさと納税のPR（広告掲載等）

(3) 寄附額の目標（歳入）

17 億円

3 寄附金実績及び活用予定

(1) 2025 年度寄附実績（2025 年 12 月末時点）

ア 金額及び件数

1,757,530 千円 32,327 件

イ 用途別寄附実績

（単位：千円、％）

区 分	金 額	割 合
「小さな世界都市とよおか」の実現を目指すまちづくり	473,398	26.9
未来を拓く人を育むまちづくり	435,992	24.8
コウノトリをシンボルとした人と自然が共生するまちづくり	245,344	14.0
深さを持った「演劇のまち」づくり	180,058	10.2
安全に安心して暮らせるまちづくり	161,575	9.2
持続可能な「力」を高めるまちづくり	97,948	5.6
人生を楽しみお互いを支え合うまちづくり	79,379	4.5
その他（上記以外のまちづくり施策）	83,836	4.8
合 計	1,757,530	100.0

(2) 2026年度活用予定

寄附金は、未来を拓く人を育むまちづくりや地方創生に向けた取組み等に有効活用する。

ア 活用予定事業 47事業 900,000千円（充当額）

イ 主な活用予定事業 (単位:千円)

事業名	予算額	充当額
「小さな世界都市」の実現を目指すまちづくり		
出会い機会創出事業	4,965	2,000
多文化共生推進事業	8,935	4,000
ジェンダーギャップ解消推進事業	5,350	2,000
市民交流広場及びこども広場管理費	61,185	60,000
植村直己冒険館管理費	57,654	57,000
出石永楽館歌舞伎開催事業	97,370	19,000
未来を拓く人を育むまちづくり		
乳幼児等医療費助成の拡充（0歳～小学3年生）	153,810	80,000
こども医療費助成の拡充（小学4年生～高校生年代）	122,239	60,000
保育所等保育料の軽減	2,231,579	90,000
コウノトリをシンボルとした人と自然が共生するまちづくり		
有機農業産地づくり推進事業	12,285	4,000
脱炭素先行地域推進事業	175,499	35,000
コウノトリ文化館管理費	33,363	32,000
深さを持った「演劇のまち」づくり		
豊岡演劇祭協同開催事業	42,545	15,000
市民プラザ管理費	59,745	50,000
安全に安心して暮らせるまちづくり		
消防団活動装備の充実	241,375	10,000
帯状疱疹・新型コロナウイルスワクチンの予防接種	150,658	50,000
公立豊岡病院組合負担金（周産期医療センター・ドクターカー）	42,864	40,000
持続可能な「力」を高めるまちづくり		
観光事業	21,508	14,000
稼ぐ力強化総合支援事業	54,640	26,000
地域経済担い手育成事業	20,115	9,000
企業誘致推進事業（産業用地の適地選定）	69,940	5,000
公共交通対策事業（バスキャッシュレス決済導入支援）	36,929	8,000
人生を楽しみお互いを支え合うまちづくり		
地域コミュニティ推進事業	163,101	40,000
全国高等学校総合体育大会の登山競技・カヌー競技の開催	6,570	6,000

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

(2) 経済が活性化するまち

(6) ともに未来をつくる行政経営

No.38	事業名 稼ぐ力強化総合支援事業	2026 年度 予算額	54,640 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市内中小企業の稼ぐ力（収益性・生産性）を多角的に強化し、地域経済の持続的な成長と安定的な雇用創出を実現する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

中小企業が収益力と生産性（稼ぐ力）を高める過程を、「土台作り」「戦略立案」「競争力強化」「成長加速」と捉え、成長段階にある中小企業を各過程において支援する。

ア 土台作り : 成長基盤となる人材の確保・定着支援

イ 戦略立案 : 専門家相談・指導による経営課題の解決および生産性向上の促進

ウ 競争力強化: 設備投資や経営革新による競争力強化および高付加価値化の支援

エ 成長加速 : 産業展への共同出展を通じた広域的な販路拡大の支援

(2) 事業期間

2026年度～2028年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

163,920千円

3 2026年度予算

(1) 予算額

54,640千円（地域未来交付金1/2）

(2) 事業内容

ア 成長基盤人材確保支援 1,000千円

企業が持続的に成長するための土台を担う人材の確保と定着を促進するため、地域企業と若者のマッチングの強化を図る。

(ア) インターンシップ受入支援補助金

市内で実施するインターンシップの参加者に対する受入企業の費用負担を補助する。

対象	補助率及び補助額	対象経費
市内に事業所を有する企業	1/2以内 参加者一人あたり上限20千円 1企業1年度につき上限100千円	インターンシップ参加者に対して企業が負担した交通費・宿泊費

イ 専門家派遣制度活用促進 予算措置なし

企業の生産管理、DX、新製品開発等の多岐にわたる経営課題に対して最適な解決策を見出すため、専門家による高度な相談・指導を提供する「NIRO（公益財団法人新産業創造研究機構）ものづくり支援センター 生産性向上支援」等の制度活用を支援し、市内企業の業務プロセスの改善および生産性の向上、付加価値の高い事業構造への転換を図る。

ウ 市内中小企業の成長投資及び経営革新支援 50,000 千円

市内企業の競争力を強化するため、設備投資による生産性向上、高付加価値化、コスト改善等の取組を支援する。

(ア) 成長投資促進補助金

大胆な投資を進め、付加価値額の増大と雇用安定の両立を目指す市内中小企業者の取組を支援する。

対象	補助率及び補助額	対象経費
市内に事業所を有する中小企業者（せんげんカンパニー登録者）	1/2 以内 300万円～500万円（※）	設備導入費、事業所改修工事費、専門家経費 等

※従業員数に応じて上限額を設定 従業員数 20 人以下 上限 300 万円
従業員数 21 人～50 人 上限 400 万円
従業員数 51 人以上 上限 500 万円

(イ) 経営革新支援補助金

自社の強みや課題、市場環境に応じて製品・商品・サービスの差別化や、生産、販売方法の最適化等を図る市内中小企業者の取組を支援する。

対象	補助率及び補助額	対象経費
市内に事業所を有する中小企業者	1/2 以内 50万円～150万円	設備導入費、事業所改修工事費、新製品開発経費、展示会出展費、ECサイト制作費、専門家経費 等

エ 産業展共同出展支援 3,640 千円

市内ものづくり企業が自社の製品や技術力を発信する機会を創出することで、域外市場の需要を取り込み、企業価値の向上を図る。

(ア) 広域販路拡大事業補助金

豊岡市工業会が取り組む「広域販路拡大事業」に対し、経費の一部を補助する。

対象	補助率及び補助額	対象経費
豊岡市工業会	3/4 以内 上限3,600千円	ブース費、装飾費、印刷製本費、旅費、通行料、使用料など

※2026 年 10 月開催の「ものづくりワールド大阪 機械要素技術展」に 8 社程度の共同出展を想定

担当課名 【環境経済課】（内線 2301）

(2) 経済が活性化するまち

No.39	事業名 地域経済担い手育成事業	2026 年度 予算額	20,115 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

創業及び事業承継にかかる多様な支援施策の連携を強化し、地域に根差した経済の担い手となる経営者を創出するとともに、伴走支援を通じてその育成を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

市の経済を支える経営人材の育成に主眼を置き、3つの取組を柱とした支援を行う。

ア ビジネス相談窓口運営

イ 起業支援事業

ウ 事業承継支援事業

(2) 事業期間

2025年度～2027年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

60,503千円

3 2026年度予算

(1) 予算額

20,115千円（地域未来交付金1/2）

(2) 事業内容

ア ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA（イッポ トヨオカ）」の運営 7,003千円

市内における創業希望者や市内事業者を対象にしたビジネス相談窓口を運営する。

(ア) ビジネスに関する総合相談

事業の立ち上げや高度化に必要な助言、創業期のフォローアップ及び事業計画策定の支援等を行う。

(イ) 外部専門家アドバイザー派遣相談

ニッチ分野や企業会計・財務等の専門性の高い相談を対象に、必要に応じて外部専門家アドバイザーを派遣し、IPPO相談員と連携した専門相談を行う。

(ウ) ビジネスセミナーの開催

創業に関心のある方、創業間もない方及び市内事業者等を対象にビジネスセミナーを開催し、起業や事業のヒント、新たなつながりの機会を提供する。

イ 起業支援 10,105千円

(ア) 起業チャレンジ支援補助金

市内で創業・事業承継を行う際に必要となる経費を支援する。

対象	商工団体の 伴走支援	補助率及び 補助額	対象経費
市内で創業、事業承継を行う者	必須	1/3以内(※1) 上限100万円(※2)	設備導入費、事業所工事費、賃借料、広告宣伝費等

※1 若者（45歳以下の者）及び女性の場合は、補助率2分の1

※2 雇用の創出や過疎地域における取組など、地域の活性化・課題の解決に取り組む場合は上限125万円

ウ 事業承継支援事業 3,007千円

(ア) 豊岡市継業バンクによる事業承継マッチングの推進

民間のプラットフォーム「継業バンク」を活用し、全国から事業承継希望者を募ることにより、新たな担い手の確保と地域活力の維持を図る。

(イ) 事業承継セミナーの開催

市内事業者の事業承継ニーズを掘り起こし、事業の譲り受けを希望する方に対して適切に情報を提供し、事業承継をサポートする。



担当課名 【環境経済課】（内線 2301）

(2) 経済が活性化するまち

No.40	事業名	中小企業奨学金返済支援事業	2026 年度 予算額	2,250 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

奨学金の返済が若手労働者にとって重い負担となっていることから、2024年4月に兵庫県の奨学金返済支援制度の拡充が行われている。この制度による効果をさらに押し上げ、市内企業への就職・定着に結び付けるため、県制度を活用する市内企業に対して市が上乘せ補助を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 対象企業

- (ア) 豊岡市内に主たる事業所を有している中小企業者
- (イ) 従業員に対する奨学金返済負担軽減制度を設けていること
- (ウ) 兵庫県の「県内企業人材確保支援事業（兵庫型奨学金返済支援制度）」の補助金交付決定を受けていること

イ 補助額

- (ア) 企業向け
企業負担額から企業向け県補助金額を差し引いた額の2分の1（最大3万円）
- (イ) 従業員向け
本人負担額から従業員向け県補助金額を差し引いた額または企業への市補助額のいずれか低い額（最大3万円）
- (ウ) 1社につき、20万円/年を限度とする。
（あんしんカンパニーは30万円/年）

- ウ 補助期間 対象従業員1人につき5年
（要件を満たす場合は最長10年）

【補助イメージ】

年間返済額	
企業負担	本人負担

▼ 兵庫県による奨学金返済支援

年間返済額		
企業負担	本人負担	県補助金

▼ 市による奨学金返済支援 企業負担・本人負担をさらに軽減

年間返済額			
企業負担	本人負担	市補助金	県補助金

(2) 事業期間

2026年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026年度予算

2,250千円 ※特別交付税措置対象（措置率1/2）

担当課名 【環境経済課】（内線 2301）

(2) 経済が活性化するまち

No.41	事業名 産業用地の適地選定	2026 年度 予算額	4,480 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市が保有していた産業用地は 2024 年度に完売しており、次なる産業用地の確保を検討する必要がある。北近畿豊岡自動車道の延伸等を好機と捉え、将来の産業基盤再構築に向けて候補地の選定に着手する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

産業用地整備という大規模投資の妥当性を検討するための準備工程として、土地利用の現況、地形、法規制、産業インフラ等を踏まえた条件整理および現地調査を行い、候補地（2 か所程度）を選定する。

(2) 事業期間

2026 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026 年度予算

(1) 予算額

4,480 千円

(2) 事業内容

産業用地適地選定調査業務

以下項目等について比較検討を行い、最終候補地を絞り込む。

ア 一次候補地の選定（5～10 か所程度）

土地の現況、法規制の現況、地形、土質、規模・形状、上位計画との整合など

イ 二次候補地の選定

用地の特徴、用排水、電力整備状況、道路交通状況、既存集積との関係、埋蔵文化財、法規制など

ウ 最終候補地の選定（2 か所程度）

開発手法、概算事業費、開発スケジュール、課題整理など



2024 年度に完売したコウノトリ豊岡産業用地

担当課名 【環境経済課】（内線 2301）

(2) 経済が活性化するまち

No.42	事業名 第3次環境基本計画の策定	2026 年度 予算額	481 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市コウノトリと共に生きるまちづくりのための環境基本条例に基づき、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境保全に関する長期的な目標及び施策の方向を定めた「環境基本計画」を策定している。

2017年に策定した「第2次環境基本計画」は、2026年度末をもって計画期間が終了するため、次期計画を策定し、環境保全施策の推進を図る。

2 2026年度予算

(1) 事業内容

環境の保全について基本理念、基本方針及び目指す姿を定める「第3次環境基本計画」を策定し、市民・事業者及び市が相互に協力し取組みを推進する。

計画期間は2027年度～2036年度の10年間。

ア 環境審議会の開催

(ア) 内容

第3次環境基本計画の審議

(イ) 委員

委員長1名、委員14名 計15名（学識経験者、市民、事業者）

(ウ) 会議

5回程度

イ 庁内検討委員会の開催

ウ パブリックコメントの実施

(2) 事業期間

2026年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 予算額

481千円



第2次環境基本計画（2017～2026年度）

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

策定スケジュール案

5月～ 庁内検討委員会開催

6月～ 環境審議会開催（5回程度）

1月 パブリックコメントの実施

3月 計画策定

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2341）

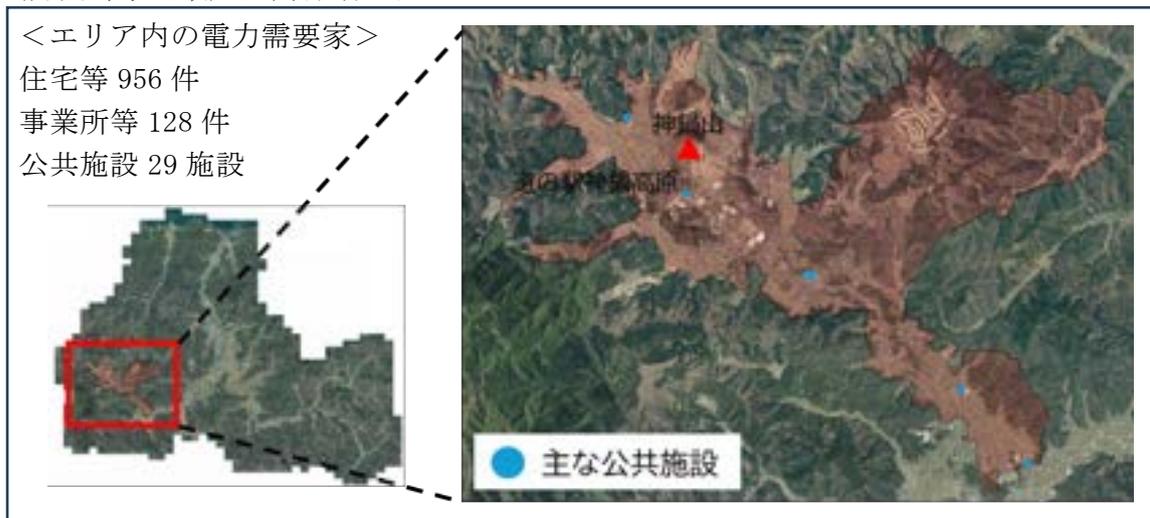
(2) 経済が活性化するまち

No.43 事業名 脱炭素先行地域推進事業	2026 年度 予算額	182,557 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

環境省の「第7回脱炭素先行地域」の採択を受けたことから、「神鍋高原ゆきみらい100年宣言」など、気候変動に対して行動を起こしている日高神鍋エリアを対象に、2030年度までの集中的な施策展開を図り、脱炭素への取組を契機として地域の観光再生と経済活性化を目指す。

〈計画対象地域〉日高神鍋エリア



2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ア 住宅や宿泊施設等への太陽光発電・蓄電池の導入による再エネの利用促進
- イ 住宅、事業者への薪ストーブ等の導入によるバイオマスエネルギーの利用促進
- ウ 道の駅神鍋高原を中心とした非常時マイクログリッド構築によるレジリエンス強化
- エ 道の駅神鍋高原の垂直型太陽光発電設備や蓄電池等の再エネ設備整備
- オ 市の未利用地を活用した太陽光発電設備の整備による公共施設等への再エネ供給
- カ 普及啓発事業（脱炭素アカデミー、効果促進事業等）の実施



垂直型太陽光発電設備や蓄電池等の再エネ設備整備を進める道の駅神鍋高原



脱炭素を通じて地域課題を解決する人材育成とコミュニティづくりを目的に開催する脱炭素アカデミー（2025年開催の様子）

(2) 事業期間

2026 年度～2030 年度

(3) 事業主体

豊岡市

脱炭素先行地域共同提案者（一般社団法人日高神鍋観光協会、株式会社但馬銀行、但馬信用金庫、たじま農業協同組合、一般社団法人 Climate Integrate、株式会社カネカ、ハチドリソーラー株式会社、株式会社ボードレス・ジャパン、株式会社 JTB）

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

計画提案事業費 4,336,684 千円（国交付金 2/3）

内訳：国交付金 2,837,747 千円 市費 89,223 千円 民間資金 1,409,714 千円

3 2026 年度予算

(1) 予算額

182,557 千円（内訳：国交付金 140,234 千円 市費 42,323 千円）

(2) 事業内容

- ア 太陽光発電設備設置補助
- イ 省エネ設備設置補助
- ウ 木質バイオマス利用機器設置補助
- エ EV 充電器設置補助
- オ 市未利用地の地盤調査
- カ 市民等への設備導入説明会の開催
- キ 地域活性化起業人制度の活用
- ク 普及啓発事業の実施



住宅用太陽光発電設備



木質バイオマス利用機器(薪ストーブ)

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

脱炭素先行地域とは、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現し、運輸部門やその他の分野も含めて温室効果ガス排出削減を目指す地域を、国が2025年度までに少なくとも100カ所選定するもの。

環境省脱炭素先行地域-脱炭素地域づくり支援サイト

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/preceding-region/>



担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2341）

(2) 経済が活性化するまち

No.44	事業名	道路維持（道路構造物長寿命化、大規模舗装修繕等）	2026 年度 予算額	130,370 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市道における老朽化の著しい舗装及び側溝などについて、計画的に修繕及び改修を行うことで、快適な生活環境、安心安全な道路環境を確保する。

また、道路構造物点検結果に基づき計画的な補修を行うことにより、長寿命化を図る。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

130,370 千円

(2) 事業内容

ア 道路構造物長寿命化

栗山妙見線（断面補修等）	L= 14m	日高町観音寺地内
赤崎江原線（法定点検）	L= 190m	日高町赤崎地内
太田中道ツガノ線（法定点検）	L= 90m	日高町太田地内
特定道路土工構造物点検（法定点検）	N= 10 箇所	豊岡市地内

イ 道路防災

奥野線（道路補修）	L= 25m	奥野地内
河畑分尾線（法面对策）	L= 29m	日高町羽尻地内

ウ 側溝修繕

須流神社線	L= 100m	但東町赤花地内
後線	L= 90m	但東町後地内

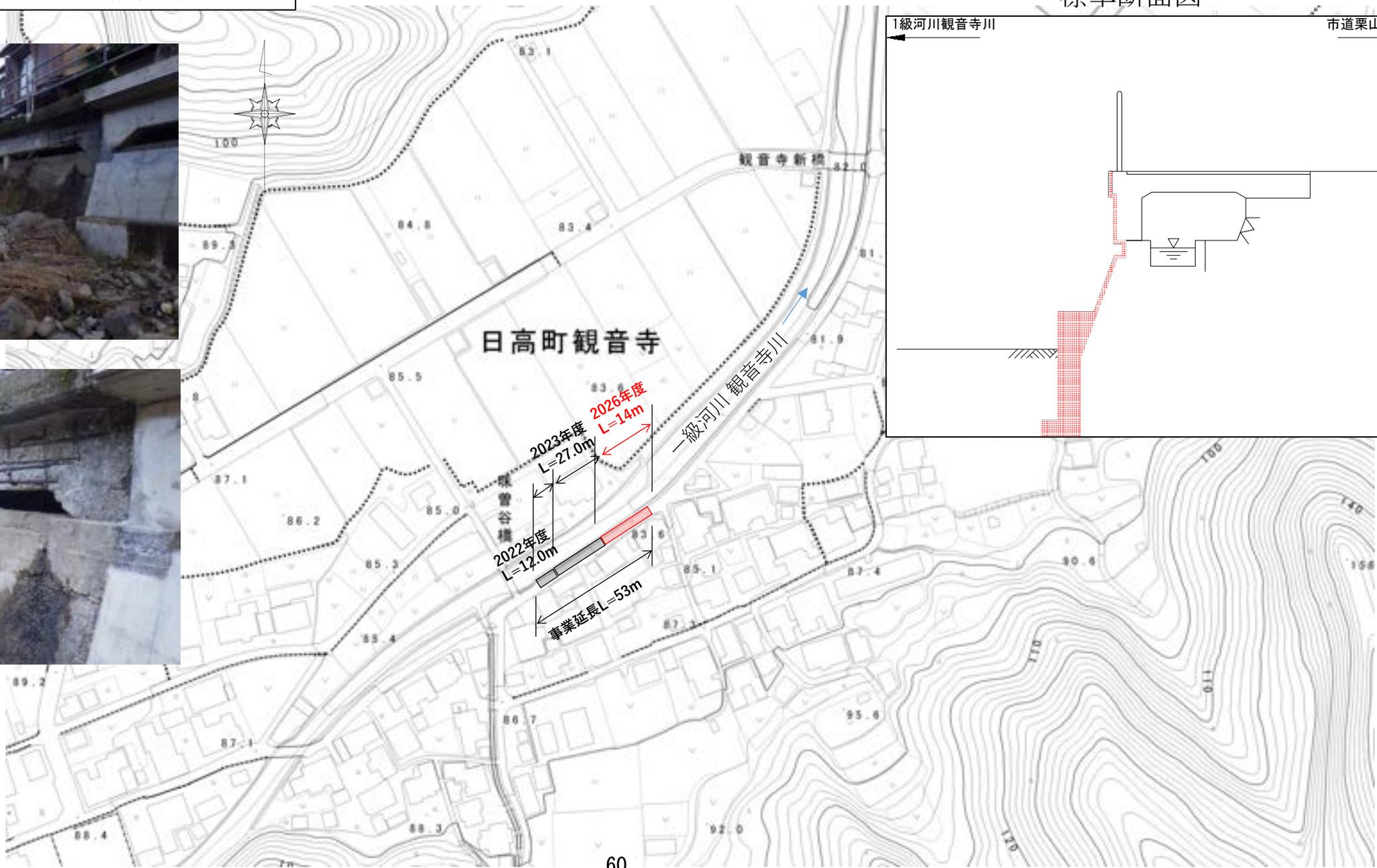
エ 大規模舗装修繕

内町線外	L= 350m	出石町内町外地内
新川西線外	L= 185m	寿町地内
三坂納屋線	L= 300m	九日市上町外地内
上庄境線	L= 180m	梶原地内
愛宕長崎線外	L= 110m	城崎町湯島地内
東河内大机線	L= 250m	日高町東河内地内
桑野本川南谷線	L= 250m	竹野町桑野本地内
中畑山線	L= 200m	但東町畑山地内
大師山線	L= 200m	城崎町湯島地内

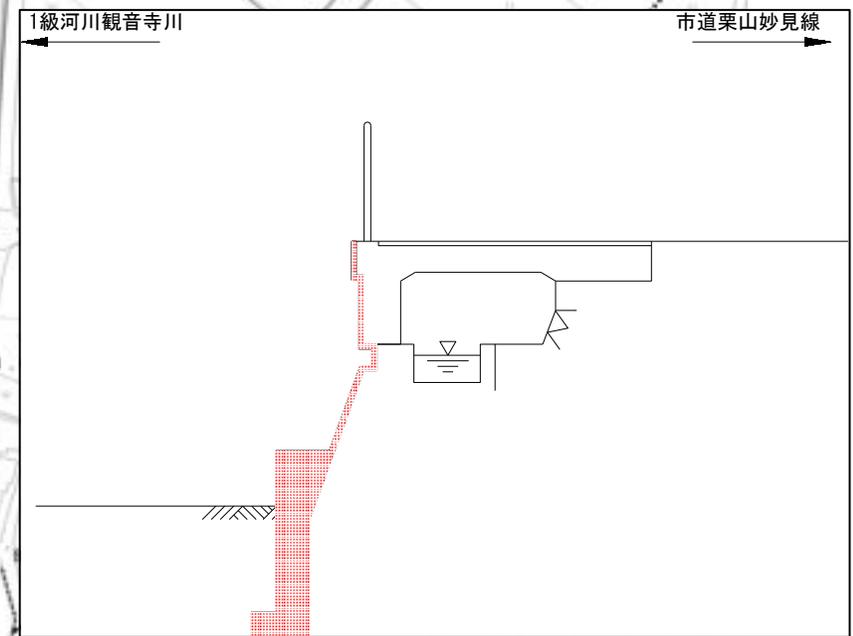
担当課名【建設課】（内線 2421）

(3) 安心安全なまち

栗山妙見線（断面補修等）



標準断面図



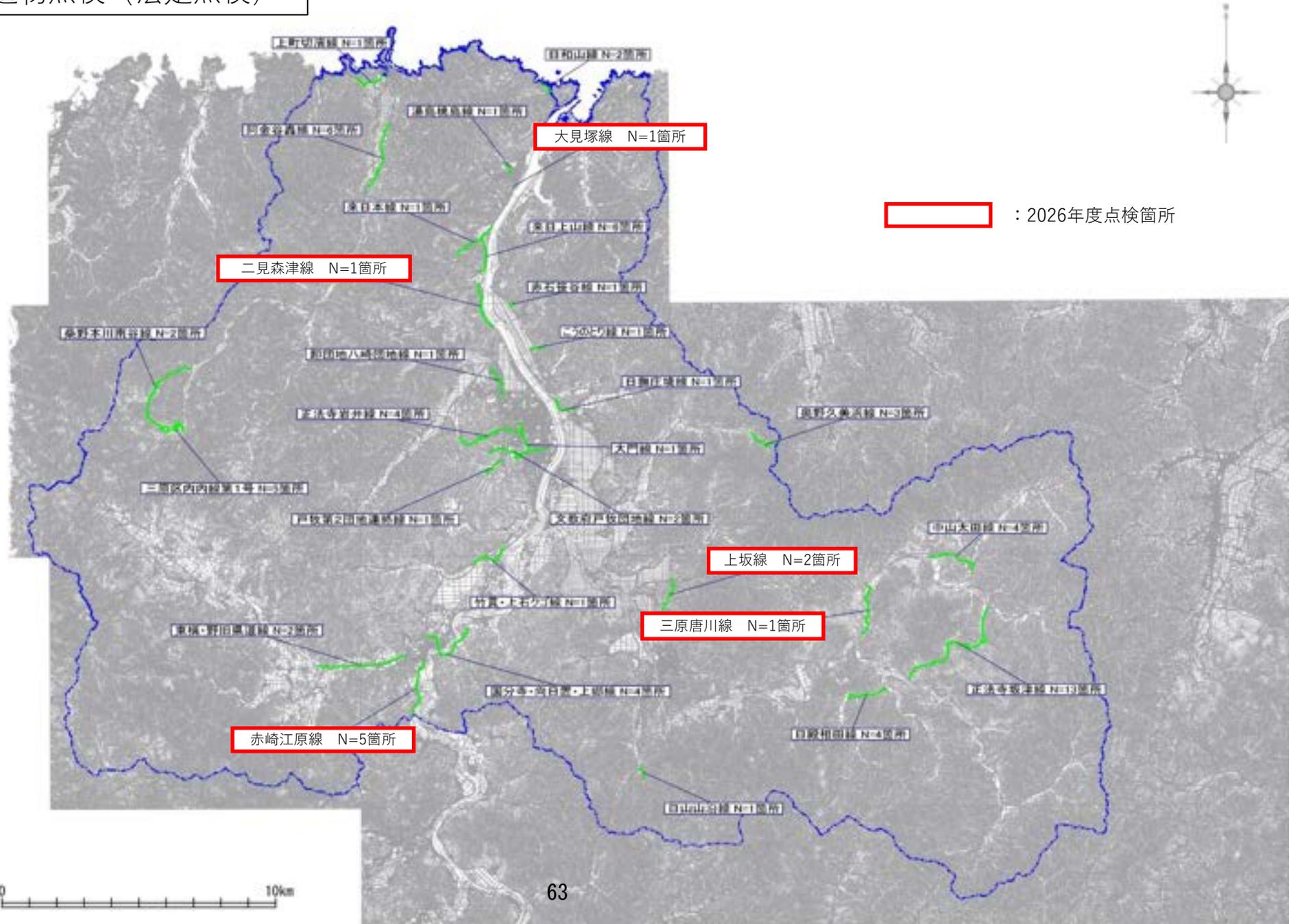
赤崎江原線 (法定点検)



太田中道シガノ線（法定点検）



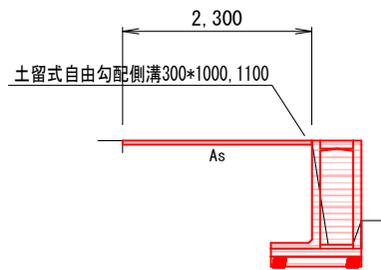
2026年度
点検業務 L=90m



道路維持（道路防災）：奥野線

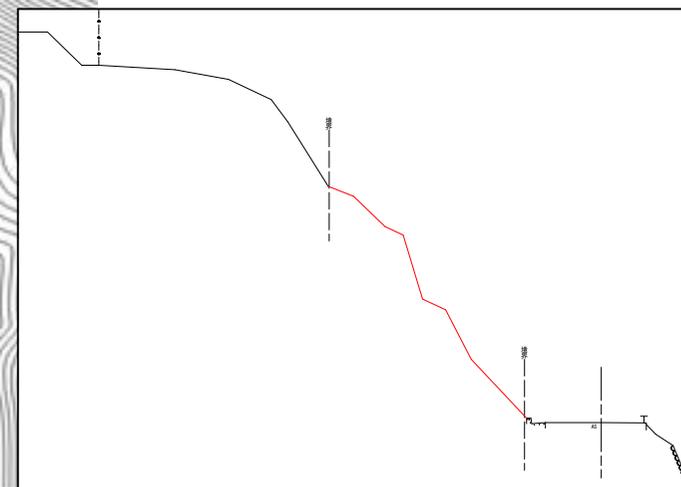
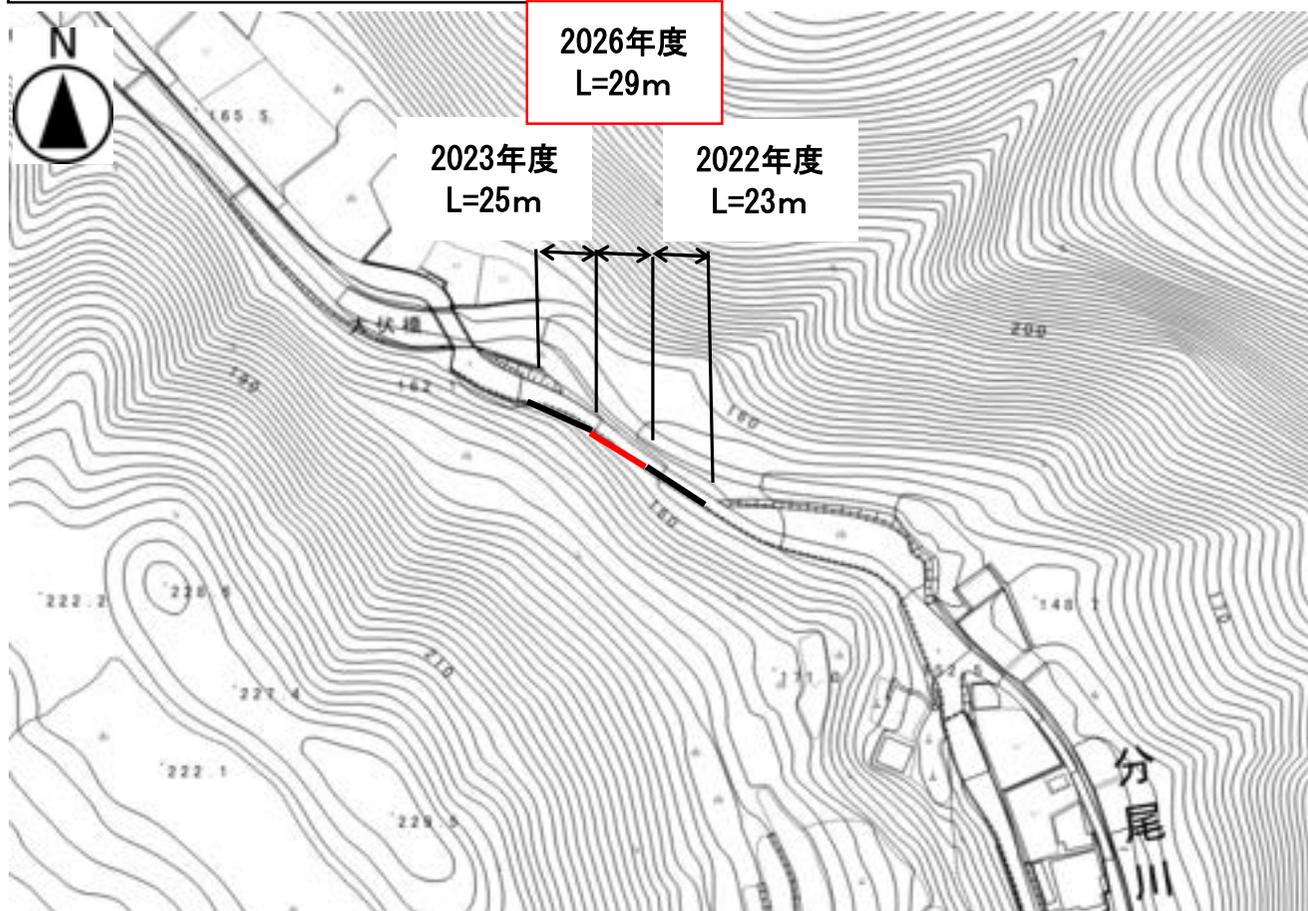


標準断面図



工事施工年度	
完成箇所	—
2026年度	—
2027年度以降	—

道路維持（道路防災）：河畑分尾線



道路維持（側溝修繕）：須流神社線



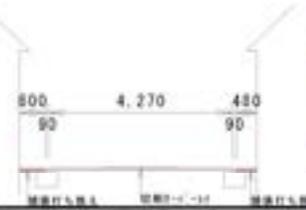
道路維持（側溝修繕）：後線



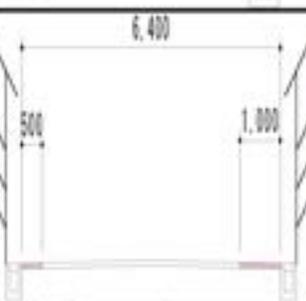
道路維持（大規模舗装修繕）：内町線外



標準断面図

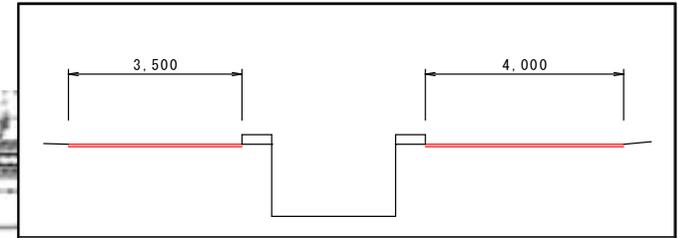


標準断面図



工事施工年度	
2026年度	█

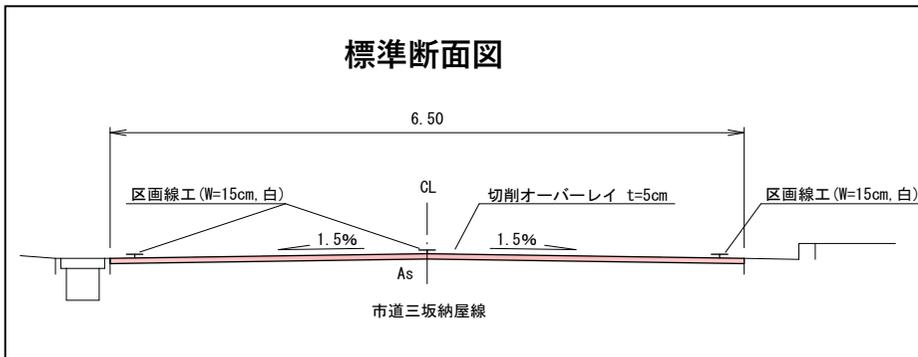
道路維持（大規模舗装修繕）：新川西線外



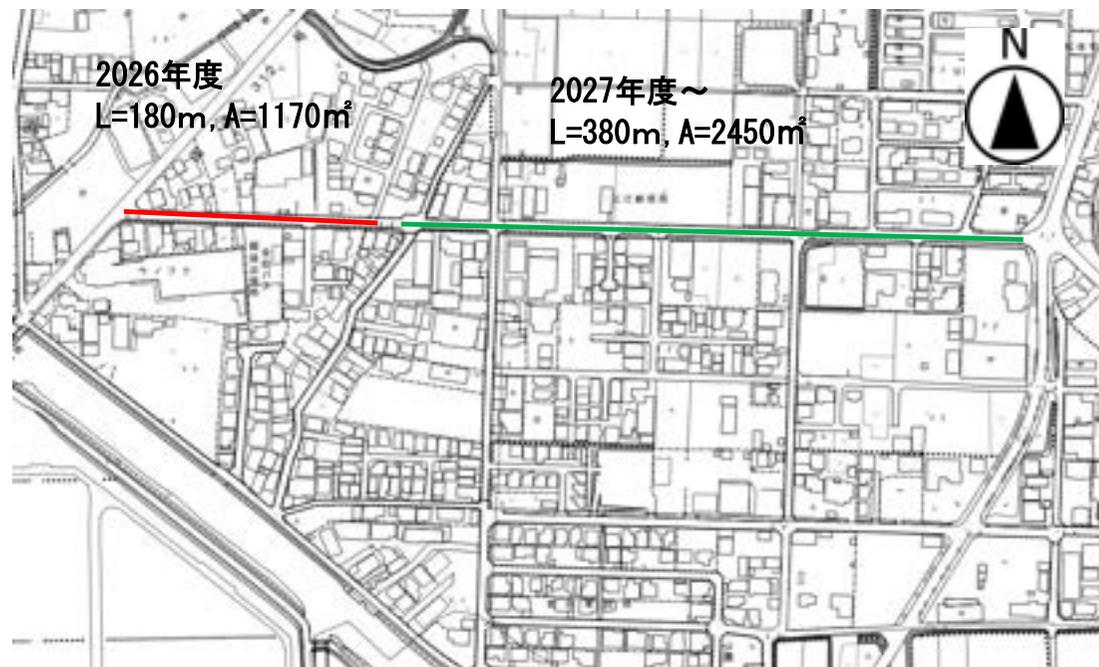
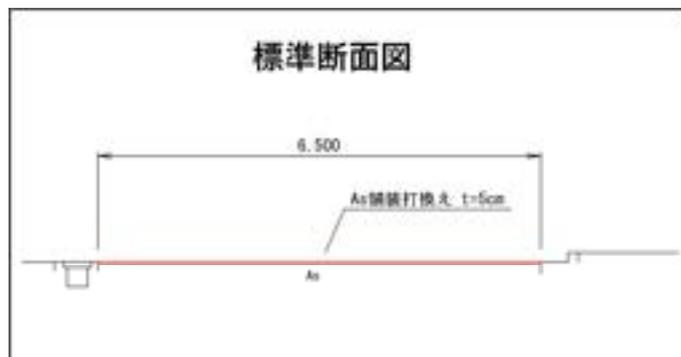
道路維持（大規模舗装修繕）：三坂納屋線



標準断面図



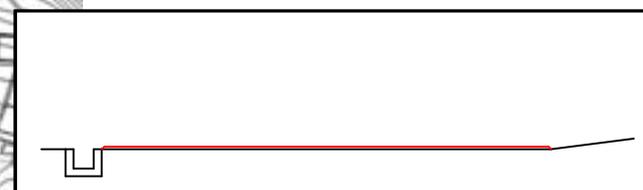
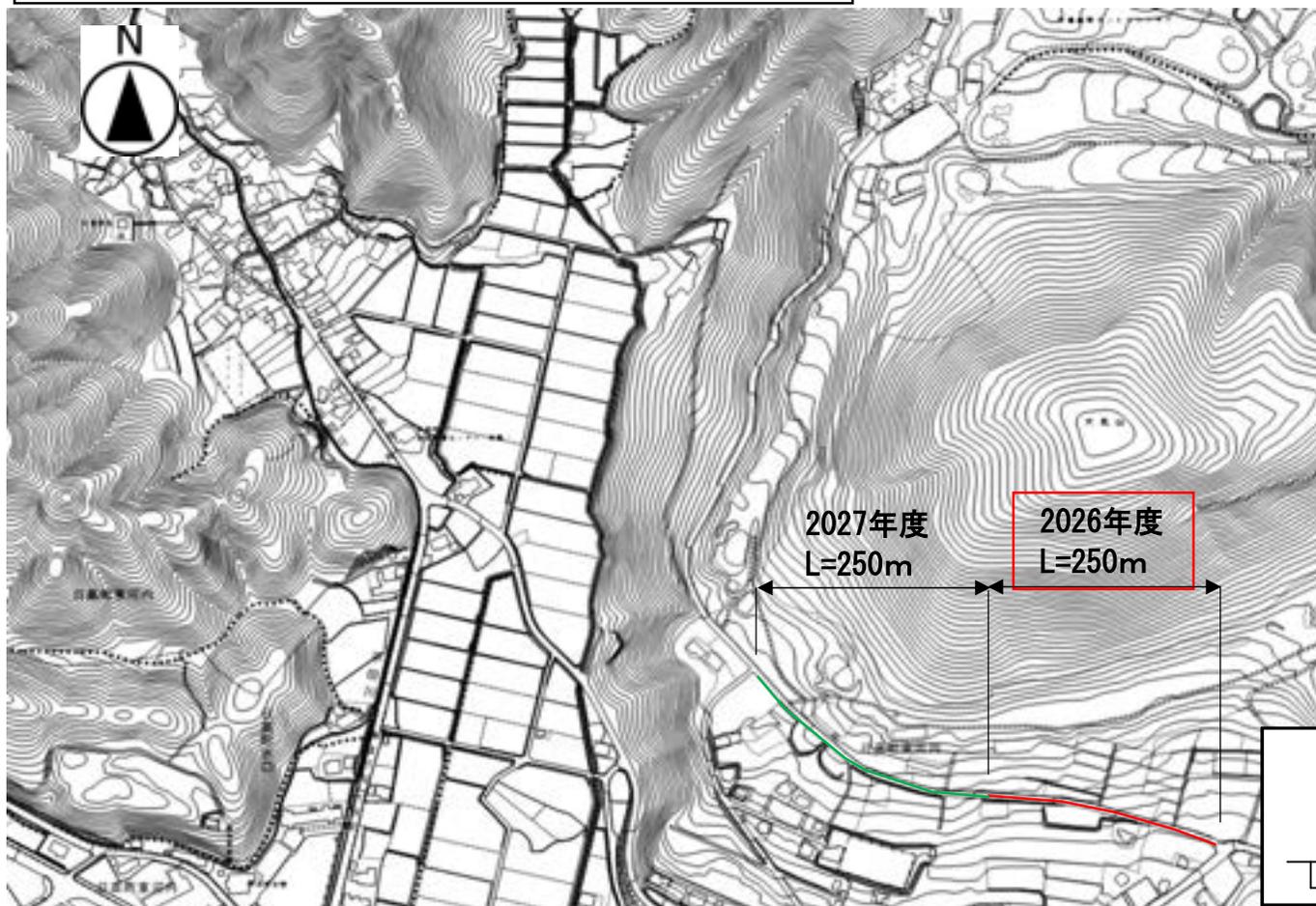
道路維持（大規模舗装修繕）：上庄境線



道路維持（大規模舗装修繕）：愛宕長崎線外

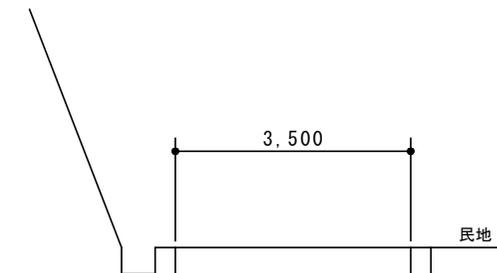
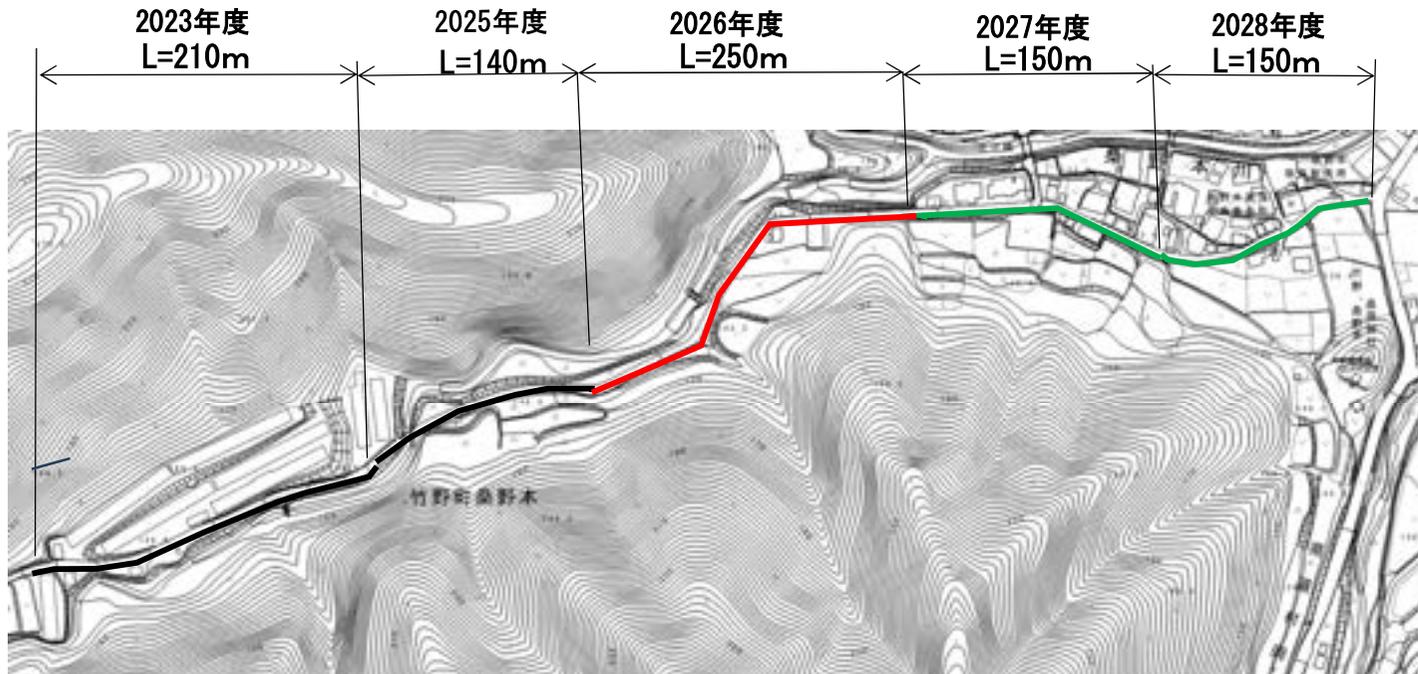


道路維持（大規模舗装修繕）：東河内大机線

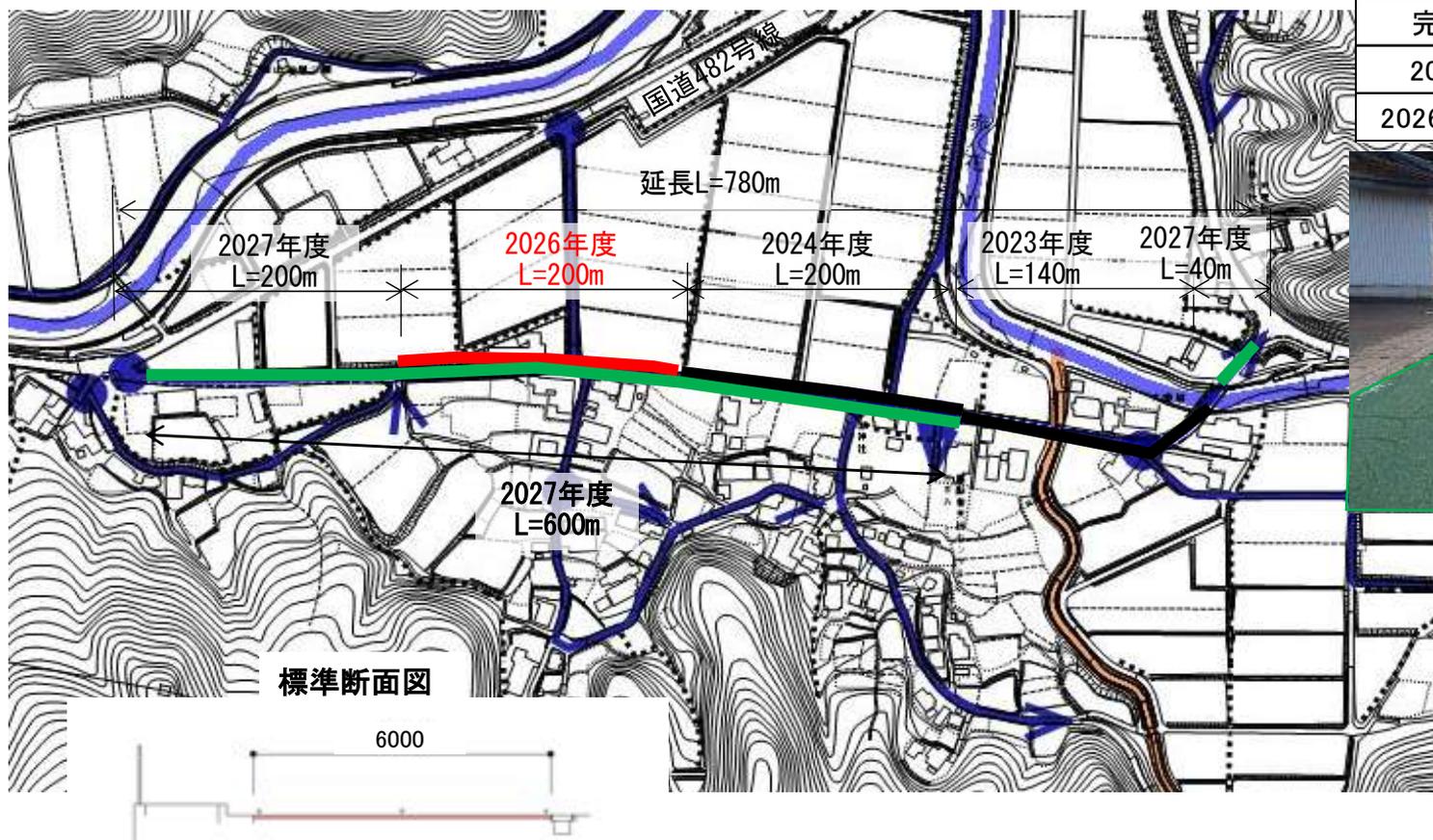


道路維持（大規模舗装修繕）：桑野本川南谷線

工事施工年度	
完成箇所	
2026年度以降	
2027年度以降	



道路維持（大規模舗装修繕）：中畑山線

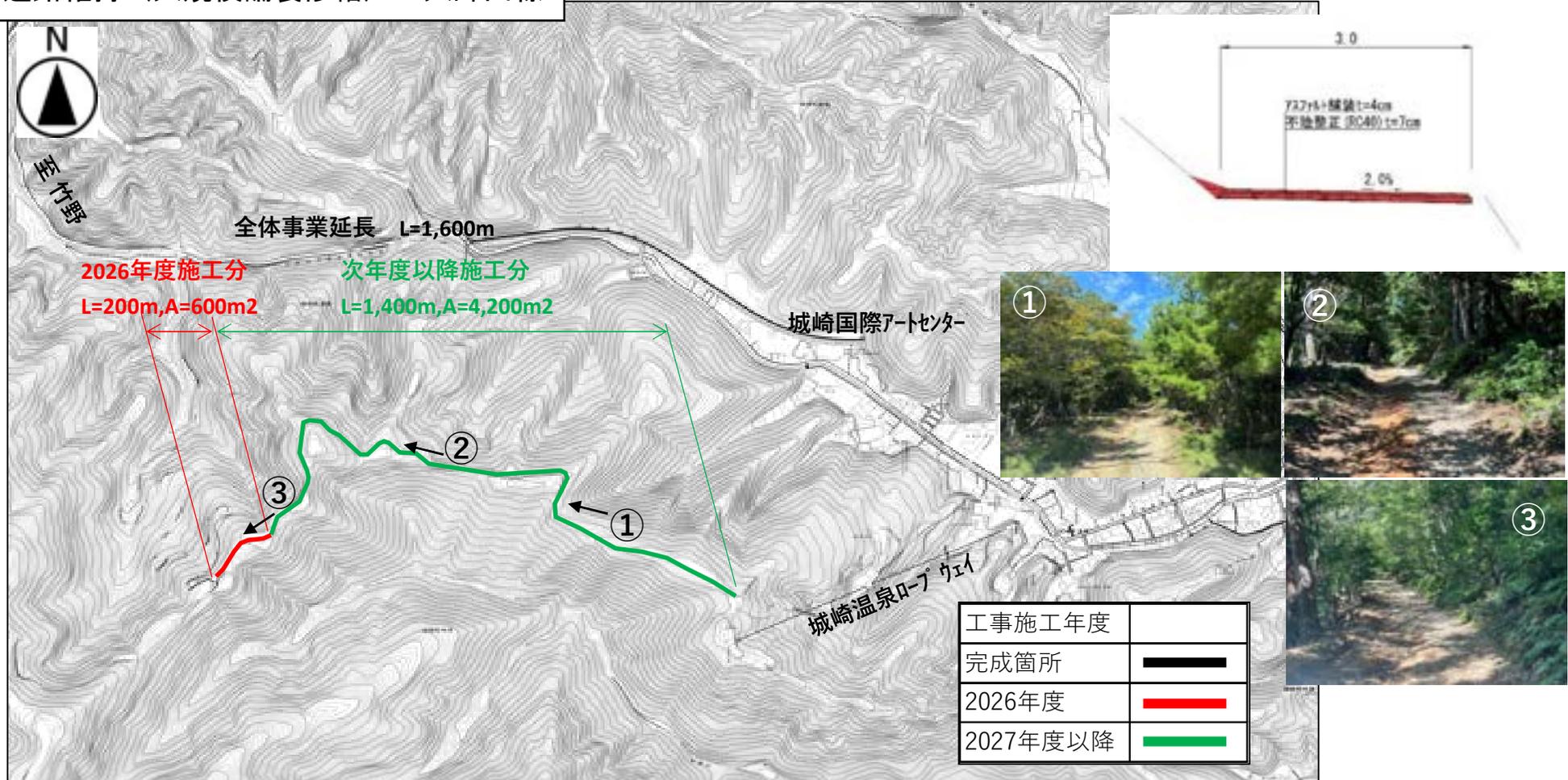


工事施工年度	
完成箇所	—
2026年度	—
2026年度以降	—



道路維持（大規模舗装修繕）：大師山線

標準断面図



No.45	事業名	雪害対策事業	2026 年度 予算額	409,866 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

冬季の道路機能を維持するため、除雪作業並びに除雪機械及び消雪装置の計画的な更新等を行い、降雪時の市道等の円滑な通行確保を図るとともに、除雪機購入費用の補助制度により市民協働による除雪体制の構築、除雪機械運転資格取得にかかる補助制度により、除雪機械運転手不足の解消に取り組む。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

409,866 千円

（財源内訳）

国費（防災・安全交付金・2/3）	45,500 千円
県費（国県道歩道除雪作業委託金）	6,204 千円
緊急自然災害防止対策事業債（100%）	54,900 千円
過疎対策事業債（100%）	4,000 千円
光熱水費等使用者負担金	264 千円

(2) 事業内容

ア 除雪機械の更新

除雪車両2台（4 t 級及びハンドガイト 1.1m 級）の更新

イ 消雪装置の更新工事

(ア) 竹野地区	（消雪ポンプ更新）	N=3 基
(イ) 竹野地区	（消雪ノズル更新）	N=40 箇所
(ウ) 栗栖野・山田線	（消雪散水管更新）	L=12m
(エ) 栗栖野・山田線	（消雪装置盤更新）	N=1 箇所
(オ) 小田井寿上陰線	（消雪散水管更新）	L=330m

ウ 除雪業務

(ア) 消雪装置保守点検	N=7 件
(イ) 除雪作業委託	N=98 件
(ウ) 除雪対策支援業務	N=1 式
(エ) 除雪用重機借上	N=13 台

エ 除雪機購入補助

(ア) 対象	自治会または地域コミュニティ組織
(イ) 内容	除雪機の購入経費の2/3以内を補助（上限150万円/台）

オ 除雪機械運転資格取得補助

(ア) 対象	本市に事業所を置く除雪事業者
(イ) 内容	除雪機械運転に必要な資格取得費用の1/3を補助（上限20万円/件）

カ その他経費

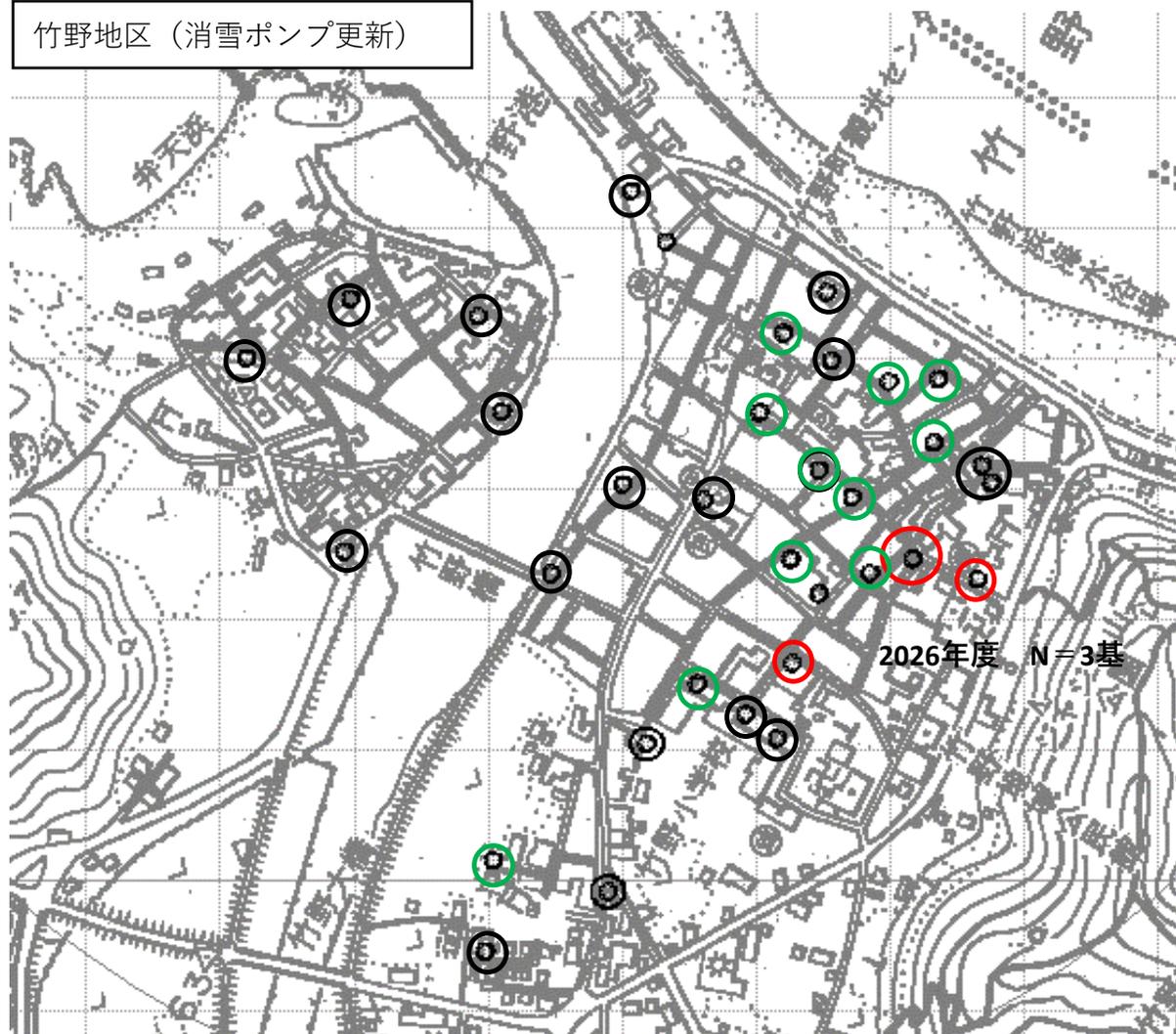
消雪装置等電気料金、除雪車点検・修繕料 他



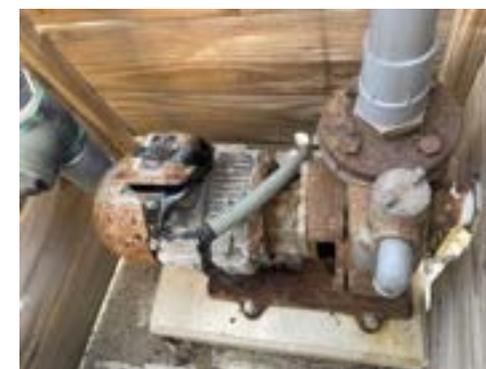
担当課名【建設課】（内線 2421）

(3) 安心安全なまち

竹野地区（消雪ポンプ更新）



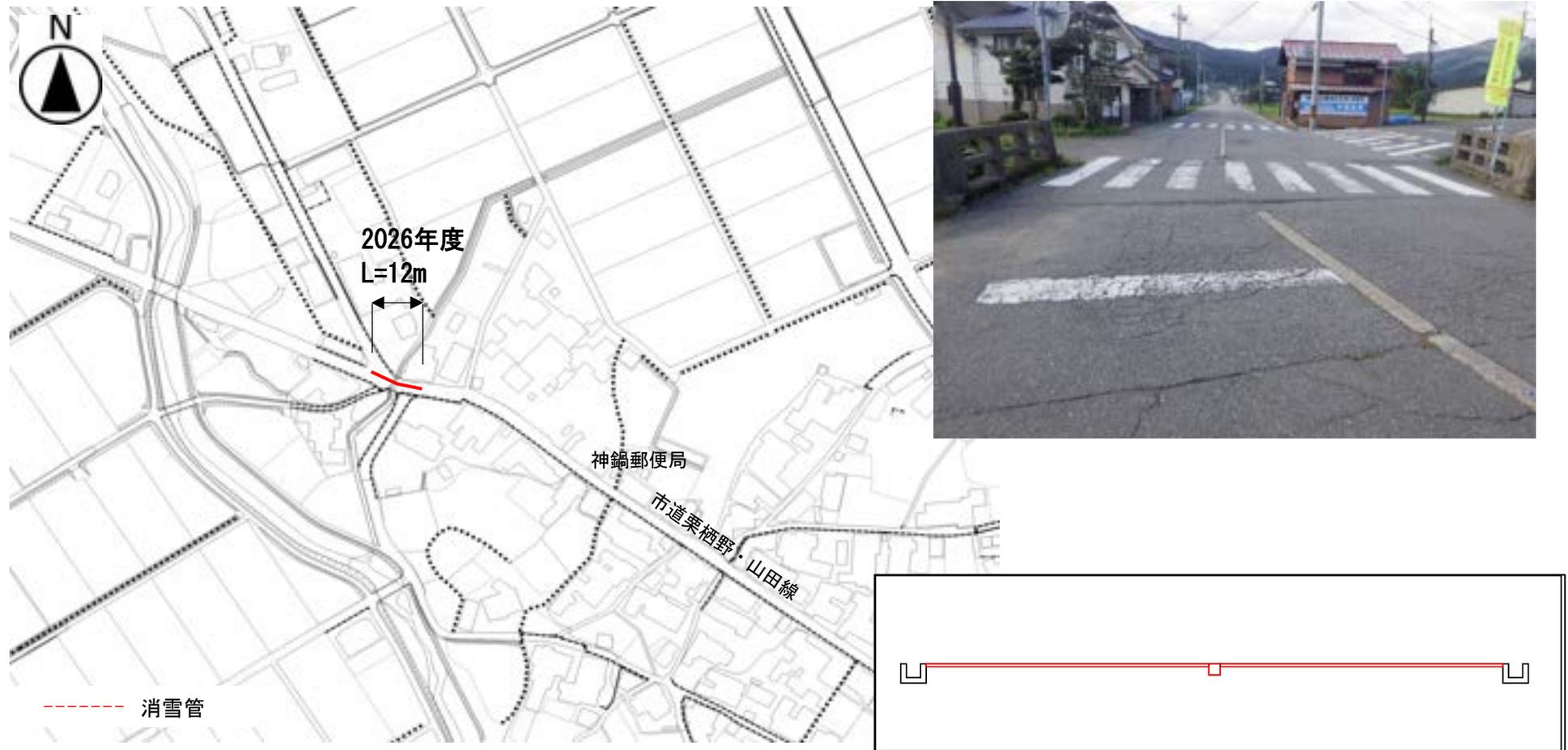
工事施工年度	
完成箇所	■
2026年度以降	■
2027年度以降	■



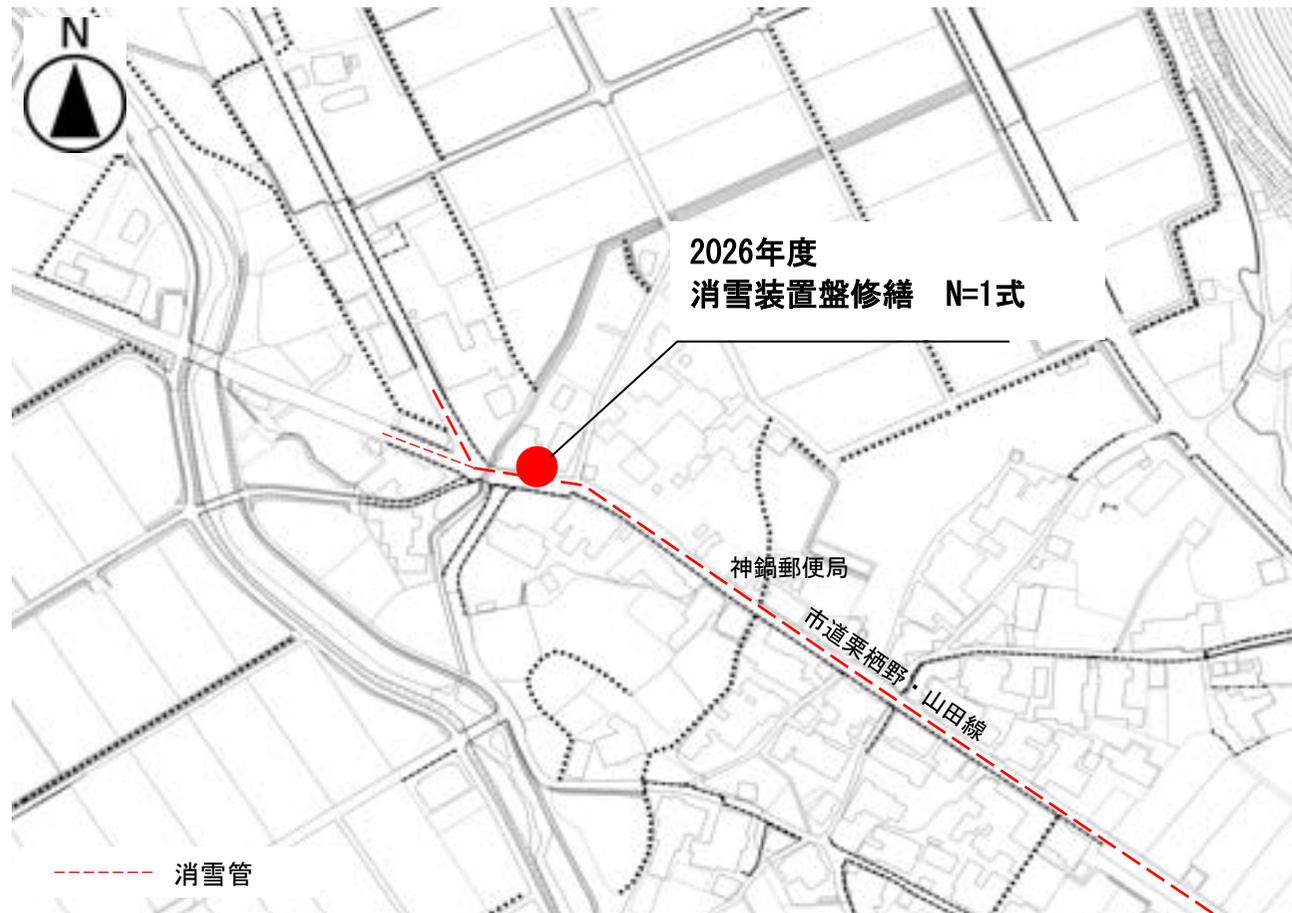
竹野地区（消雪ノズル更新）



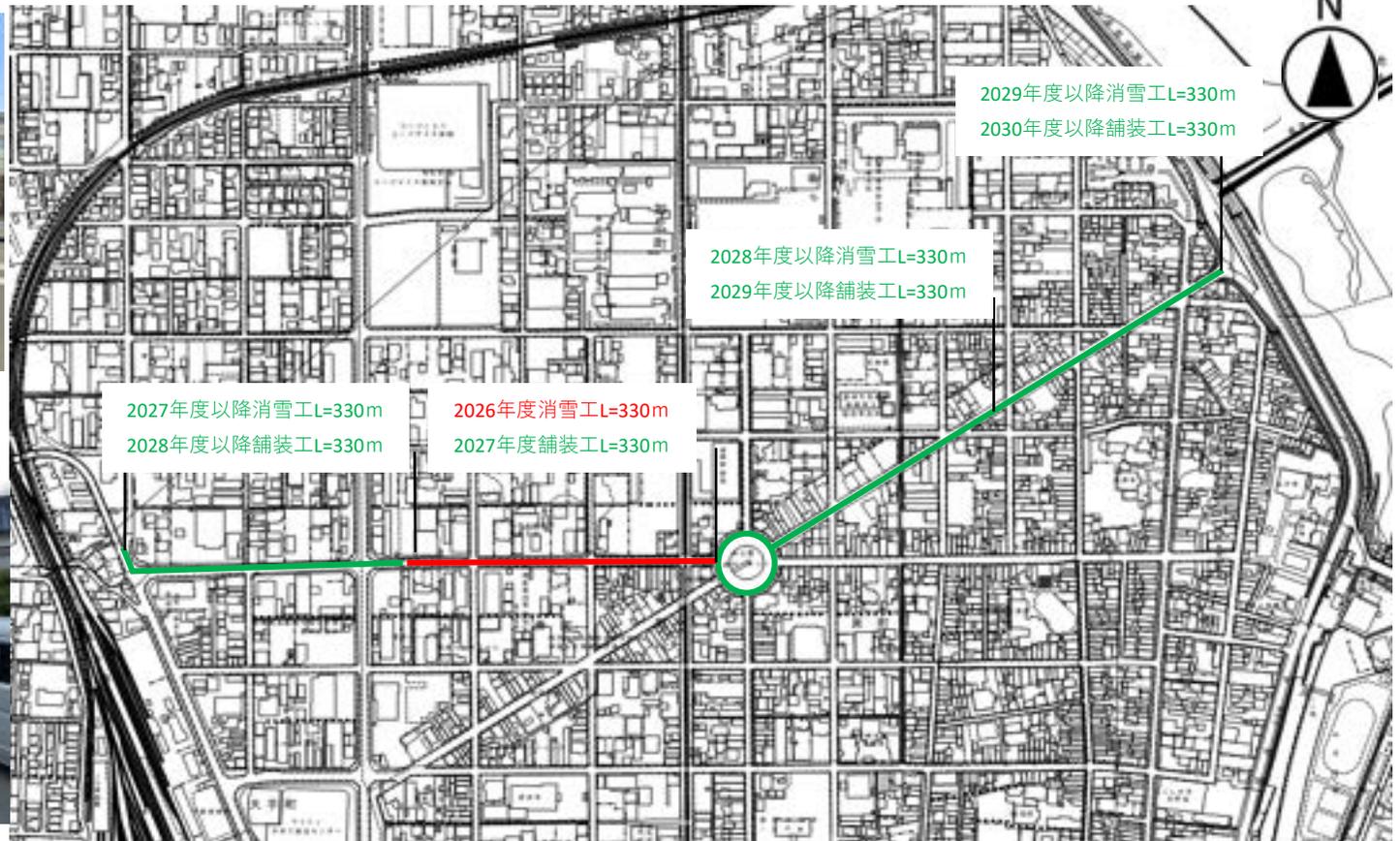
市道栗栖野・山田線（消雪散水管更新）



市道栗栖野・山田線（消雪装置盤更新）



市道小田井寿上陰線（消雪散水管更新）



No.46	事業名 橋りょうの長寿命化	2026 年度 予算額	368,500 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

道路法に基づき橋りょう定期点検を実施し、その点検結果をもとに長寿命化修繕計画を策定するとともに、補修設計、補修工事を計画的に行うことで、車両や歩行者交通の安全確保と橋梁長寿命化を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

橋梁補修工事、橋梁補修設計、橋梁定期点検、修繕計画策定

(2) 事業期間

2009 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 財源及び補助率・負担率等

道路メンテナンス事業費補助金（57.75%）

公共事業等債（90%）

過疎対策事業債（100%）

辺地対策事業債（100%）



五荘大橋

3 2026 年度予算

(1) 予算額

368,500 千円

(2) 事業内容

橋梁補修工事	五荘大橋外 8 橋
橋梁補修設計	サオリ橋外 1 橋
橋梁定期点検	1 式
物件補償	焼うろ橋外 2 橋
資材単価特別調査	1 式

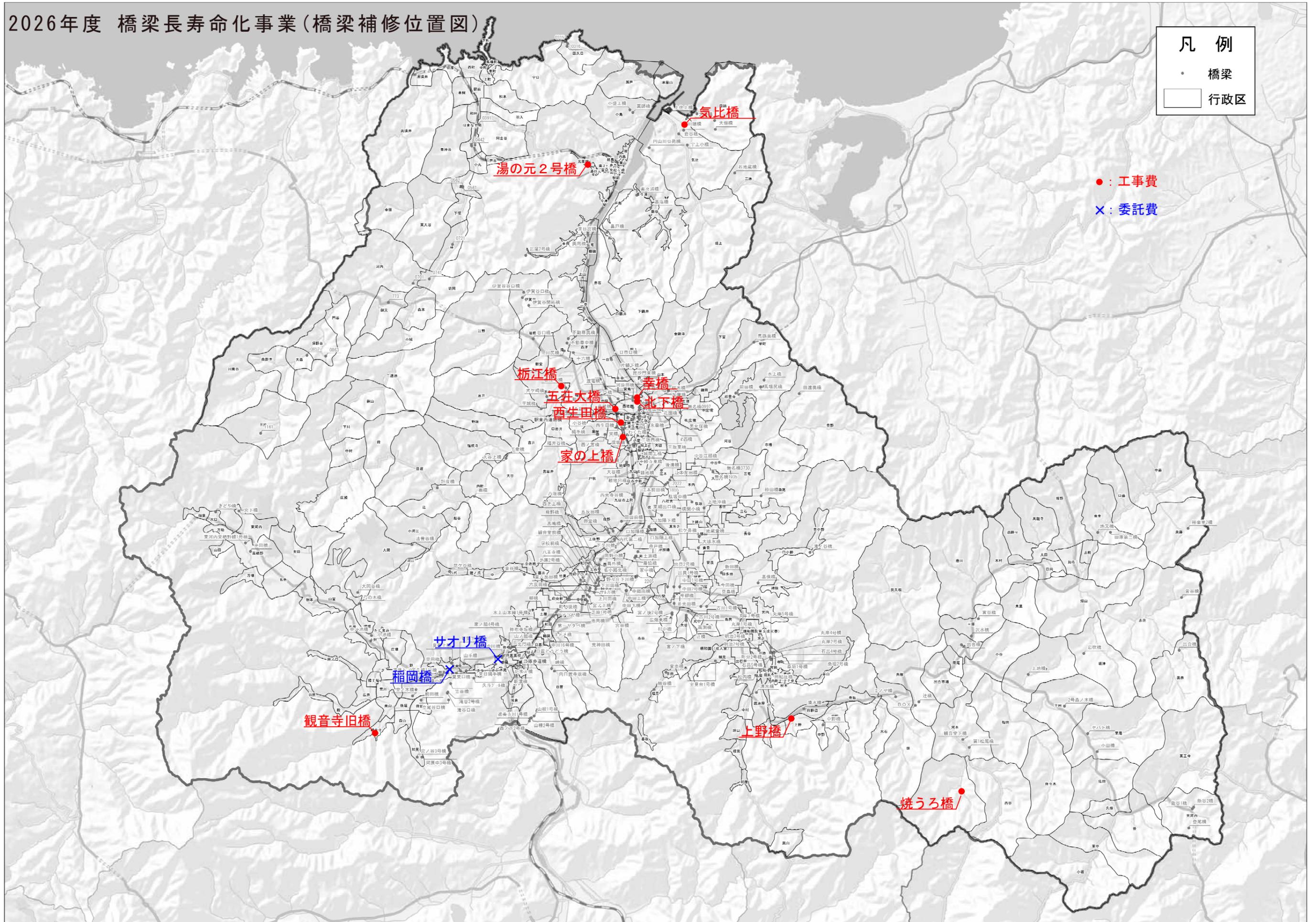


気比橋

担当課名【建設課】（内線 2421）

(3) 安心安全なまち

2026年度 橋梁長寿命化事業(橋梁補修位置図)



No.47	事業名 JR 山陰本線の利用促進事業	2026 年度 予算額	4,623 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2022年4月にJR西日本が輸送密度(平均通過人員)1日あたり2,000人未満で、大量輸送という鉄道の特性が発揮されていない線区の[※]輸送密度と経営状況を公表した。

これを受け、本市の対象線区であるJR山陰本線(城崎温泉駅から竹野駅間)の利用促進策を実施し、市民生活と観光・交流の基盤となる公共交通(鉄道交通)の維持存続を図る。

※ 山陰本線(城崎温泉駅～浜坂駅) 2024年の輸送密度：574人
2022年～2024年の平均収支：△9.5億円

2 2026年度予算

(1) 予算額

4,623千円(過疎対策事業債100%)

(2) 事業内容

県及びJRローカル線沿線市町で組織された「JRローカル線維持・利用促進協議会」と「JR山陰本線維持・利用促進ワーキングチーム」により、これまで地域の実情に合わせた「利用促進策」に取り組んできた。

さらに本市においては、地元の区長会や地域コミュニティ、観光協会や商工会を構成員とする「竹野地域公共交通利用促進委員会」により実効性のある持続可能な利用促進策を実施する。

ア 「乗って守ろう！竹野駅ペイ」実施事業

JR竹野駅で切符等を購入した利用者に対して、購入金額に応じた額面のクーポン券(100円/枚)を発行(発行予定枚数：25,000枚。購入金額10,000円以上は上限2,000円のクーポン券)し、地域内の登録店舗で利用いただく取組(地域還元策)。

イ 山陰本線周遊サイクルトレインによるスタンプラリー事業 新規

JR山陰本線(城崎温泉駅～竹野駅間)において、折畳み可能な電動アシスト自転車を活用したサイクルトレインとスタンプラリーを実施し、鉄道と自転車を組み合わせた周遊観光を促進。

ウ 桜のライトアップイベント事業(4月)、イルミネーションライトアップイベント事業(12月～1月)

(3) 事業期間 2026年度

(4) 事業主体 豊岡市



担当課名 **【都市整備課】** (内線 2481)

(3) 安心安全なまち

No.48	事業名	竹野地域予約型乗合交通 「たけの～る」の運行支援	2026 年度 予算額	10,674 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

2025年10月に竹野地域全域のコミュニティエリアを基本とし、豊岡市街地エリアを結ぶ新たな交通モードである竹野地域予約型乗合交通「たけの～る」の運行が開始した。

「たけの～る」の運行管理は交通事業者である全但バス㈱が、予約受付業務は全但バス㈱から受託され地域の見守りを支える市社会福祉協議会が、また車両の運転手は全但バス㈱が雇用する地域住民がそれぞれの役割を担い、地域住民はもとより観光客などの利用者の利便性を図る。さらに相互の良好な関係を築き、持続可能な交通の確保に努める。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

「たけの～る」の運行主体である全但バス㈱に対し、運行経費の一部を支援する（予約型乗合交通維持対策補助金）。

(2) 事業期間

2025年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 2026年度予算額

10,674千円（①－②）

・運行経費等 43,501千円…①

・運行主体収入 32,827千円（国庫補助金 30,667千円、運賃収入 2,160千円）…②



【たけの～る概要】

1 運行日

(1) 月曜日から金曜日 7時～19時

(2) 土曜日 8時～14時

2 予約方法 利用日の前日までに予約

(1) 電話予約：豊岡市社会福祉協議会竹野支所 0796-47-2033

ア 受付時間 9時～16時30分

イ 予約受付日 利用希望の7日前から受付

(2) WEB予約：右記の二次元コードから予約

3 利用料金

(1) 竹野・中竹野地区内、竹野南地区内 300円

(2) 竹野・中竹野地区⇄竹野南地区 500円

(3) 竹野地域⇄豊岡市街地 1,000円

※詳細は市ホームページからご確認ください。



市ホームページ



WEB予約システム

担当課名 【都市整備課】（内線 2481）

(3) 安心安全なまち

No.49	事業名 バスストップ整備事業	2026 年度 予算額	27,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------	-------------------	-----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

北近畿豊岡自動車道の日高神鍋高原 I Cや J R 江原駅から近い日高庁舎敷地内の旧テニスコートにバスストップ及びパーク&ライド駐車場を整備することによって、高速バス、路線バス、市営バスイナカー及び鉄道など、様々な公共交通利用者の利便性の向上を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

バスバース(バス停留施設)、待合所、バス利用者用駐車場など A=1,200 m²

(2) 事業期間

2025年度～2026年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

43,100 千円

（社会資本整備総合交付金 52.5%）

2025年度 設計業務、整備工事

2026年度 整備工事



3 2026 年度予算

(1) 予算額

27,000 千円

（財源内訳）社会資本整備総合交付金 13,125 千円（補助率52.5%）

公共事業等債 10,600 千円（充当率90%）

(2) 事業内容

整備工事（舗装、区画線、排水施設、待合施設） 1 式

担当課名【都市整備課】（内線 2481）

(2) 経済が活性化するまち

No.50	事業名	地域公共交通キャッシュレス決済導入支援事業	2026 年度 予算額	9,929 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

路線バス及び市街地循環バス「コバス」にキャッシュレス決済を導入することで、現金支払いに伴う不安や煩わしさを解消し、誰もが利用しやすい公共交通環境を整備する。

併せて、利用データを活用した利用実態の可視化により、バス交通ネットワークの検証や見直しを可能とし、持続可能な地域公共交通の再構築につなげる。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

9,929 千円（地域未来交付金デジタル実装型タイプA 854 千円）

共通サーバー整備費 1,708 千円

車載器導入支援費 8,221 千円

(2) 事業内容

JR と互換性のある交通系 IC カードが利用できるキャッシュレス決済システム「バス ICOCA システム」を導入する。兵庫県が主導する「ひょうご新 IC サービス整備協議会」と連携し、共通サーバーを整備するとともに、乗合バス事業者が導入する車載器について、導入費の一部を支援する。

(3) 事業主体

豊岡市



利用できる全国共通交通系 IC カード（10 種類）

担当課名 【都市整備課】（内線 2481）

(3) 安心安全なまち

No.51	事業名	子育て世帯・若者夫婦世帯に対する市営住宅の提供	2026 年度 予算額	6,140 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

市営住宅の有効活用と子育て世帯等への支援の観点から、入居率の低い市営住宅の一部を、目的外使用により、所得制限なしで子育て世帯や若者夫婦世帯に低廉な家賃で提供する。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

工事請負費 6,140 千円

対象住宅のうち未修繕の部屋（5戸）の修繕費



（写真：日野辺住宅）

(2) 事業内容

ア 対象者

- (ア) 同居者に18歳未満の子がいる世帯
- (イ) 同居者に20歳未満の子がいる母子・父子世帯
- (ウ) 合計年齢が80歳未満の夫婦世帯

イ 対象とする住宅

各地域（入居率の高い竹野地域を除く）の市営住宅から選定した、子育て世帯に適した広さの部屋（3DK、3LDK）

2026年度 計8戸

豊岡地域：栄町住宅1戸、城崎地域：上山住宅1戸、日高地域：道場住宅1戸、静修住宅2戸、出石地域：日野辺住宅2戸、但東地域：久畑二ノ宮住宅1戸

ウ 家賃

住宅ごとの最も安価な金額

2026年度 月額16千円～23.3千円（毎年度見直しあり）

エ 入居可能期間

最長5年間（1年ごとに更新）

(3) 事業主体

豊岡市



（写真：静修住宅）

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

上記目的外使用は、2026年1月から入居者を継続募集中の内容。

併せて、2026年度から、市営住宅の本来入居における収入基準について、養育費の負担が大きい子育て世帯等の基準を緩和して、市営住宅の入居可能範囲を広げる。

※収入基準 月額15万8千円 → 月額21万4千円

担当課名 【建築住宅課】（内線 2461）

(1) 子育てに優しいまち

No.52	事業名 住宅耐震改修促進	2026 年度 予算額	25,463 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

本市の住宅耐震化率は74%で、2024年1月に発生した能登半島地震の被災地である能登半島地方と同様に低く、同規模の地震に見舞われた場合、甚大な被害が想定される。また、南海トラフ地震等の発生する可能性も高まってきており、耐震化率の向上が急務となっている。

市内の住宅の耐震化の促進を図るため、1981年（昭和56年）5月31日以前に着工された市内の住宅を対象とした簡易耐震診断の無料実施、および同診断を前提とした耐震改修に対する補助を行う。



振動実験結果 出典：独立行政法人防災科学技術研究所

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 簡易耐震診断推進事業（個人負担なし）

- ・市が簡易耐震診断員を派遣し、地震に対する安全性を簡易な方法で評価する簡易耐震診断を実施する。

イ 豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金【交付金事業】

(ア) 全体補強型計画策定費補助（補助率2/3、上限20万円）

- ・地震に対して安全な構造となる耐震基準を満たす住宅に改修するための計画策定に対して補助する。

(イ) 全体補強型改修工事費補助（補助率4/5、上限140万円）

- ・地震に対して安全な構造となる耐震基準を満たす住宅に改修するための工事に対して補助する。

(ロ) 部分補強型簡易耐震改修工事費補助（補助率4/5、上限60万円）

- ・地震に対して瞬時には倒壊しない程度の耐震性を満たす住宅に改修するための計画策定及び改修工事に対して補助する。

(ハ) 防災ベッド等設置費補助（補助率10/10、上限10万円）

- ・地震で住宅が倒壊しても安全な空間を確保して命を守るための防災ベッドを設置する工事に対して補助する。
- (オ) シェルター型工事費補助（補助率 10/10、上限 60 万円）
 - ・地震で住宅が倒壊しても安全な空間を確保して命を守るためのシェルターを設置する工事に対して補助する。
- (カ) 屋根軽量化工事費補助（補助率 10/10、上限 60 万円）
 - ・非常に重い屋根から軽い屋根もしくは軽い屋根、または重い屋根から軽い屋根に軽量化する工事に対して補助する。
- (キ) 建替工事費補助（補助率 4/5、上限 115 万円）
 - ・耐震診断の結果安全性が低いと診断された住宅を同一敷地内に建て替える工事に対して補助する。

ウ 豊岡市住宅耐震リフォーム等補助金【市単独補助】

- (ア) 居室等補強型住宅耐震リフォーム工事費補助（一般型：補助率 1/6、上限 60 万円 特別型：補助率 1/3、上限 70 万円）
 - ・耐震診断の結果安全性が低いと診断された住宅の居間または寝室の耐震改修のための壁補強ならびに同時に行うリフォーム工事に対して補助する。
- (イ) 豊岡市住まいの耐震化促進事業加算型住宅耐震リフォーム工事費補助（補助率 1/6、上限 30 万円）
 - ・豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金のうち、全体補強型改修工事費補助、部分補強型簡易耐震改修工事費補助の交付決定を受けた方に上乗せして補助する。
- (ウ) 豊岡市住まいの耐震化促進事業加算型建替工事費補助（定額 55 万円）
 - ・豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金のうち、建替工事費補助の交付決定を受けた方に上乗せして補助する。

※耐震工事の補助内容は、国県制度改正に伴い変更する可能性がある。

(2) 事業期間

2017 年度～2028 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026 年度予算

(1) 予算額

25,463 千円

(2) 主な事業内容

ア 簡易耐震診断推進事業	1,575 千円
イ 豊岡市住まいの耐震化促進事業補助金	10,450 千円
ウ 豊岡市住宅耐震リフォーム等補助金	13,350 千円

担当課名 【建築住宅課】（内線 2461）

(3) 安心安全なまち

No.53	事業名 地籍調査事業	2026 年度 予算額	126,069 千円	新規 拡大 継続
-------	------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的とする。（国土調査法第1条）

2 全体の事業内容

(1) 内 容

土地一筆ごとに、所有者、地番及び地目を調査し、境界の確認及び面積の測量を行い、成果として地籍図及び地籍簿に取りまとめ、明確にする。

成果の写しを法務局に送付し、法務局が登記の変更をすることにより、①土地境界のトラブル防止、②土地取引の円滑化、③公共事業の早期完成、④山林の保全管理、⑤土砂災害や震災等の際の速やかな復旧、⑥土地課税の公正公平化に役立てる。

(2) 事業期間

2006 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 未定

負 担 率 県営事業 国 50%、県 50%

市営事業 国 50%、県 25%、市 25%



一筆地（現地立会）調査状況



航空レーザ測量イメージ図

3 2026 年度予算

(1) 予算額

126,069 千円

(2) 事業内容

【実施大字】 出石町荒木、城崎町楽々浦、城崎町飯谷、赤石、中陰、森津、日高町竹貫、但東町天谷、下陰、（9 大字）

【事業量】 調査図素図作成、図根三角測量 0.55k m²
 一筆地（現地立会）調査、詳細測量 0.65k m²
 地籍簿（案）・地籍図（案）作成、閲覧 2.04k m²

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

- ・2026 年度末事業進捗率見込み 単年度 0.3%、累計 15.0%
- ・山林部にて、航空レーザ測量の最新技術を活用したスマート地籍調査を試行する。

担当課名【地籍調査課】（内線 2381）

(3) 安心安全なまち

No.54	事業名	地域解決型予算（道路水路等 区内環境改良事業の拡大）	2026 年度 予算額	34,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-------------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地区からの要望に迅速に対応し、地区内の環境改良を進めるため、道路水路等の小規模な補修について、各振興局長等の権限で執行できる事業を2012年度に創設。

地区からの要望も多様化していることから、より迅速に、より機動的に対応するため、従前からの対象施設や用途を拡大し、現地解決型の事業執行を推進する。

2 2026年度予算

(1) 予算額

34,000千円（※前年度比12,000千円増額）

(2) 事業内容

ア 従前の対象、用途、総額

区内の道路、水路などの公共的施設の補修経費で、1事業当たり概ね300千円程度の修繕。総額22,000千円。

イ 拡大の対象、用途、総額 拡大

対象を道路、水路などの公共的施設の他、一部公園にも拡大。また、修繕だけに限定していた用途を、作業などの役務費、原材料費にも拡大。各振興局等にそれぞれ2,000千円を増額し、総額を34,000千円に拡大する。

3 その他参考事項

○各地区配分額

(千円)

地区	人口割・市道延長割	2026年度増額	計
豊岡地区	5,604	2,000	7,604
城崎地区	2,770	2,000	4,770
竹野地区	2,982	2,000	4,982
日高地区	4,048	2,000	6,048
出石地区	3,360	2,000	5,360
但東地区	3,236	2,000	5,236
計	22,000	12,000	34,000

担当課名【建設課】（内線 2421）
【城崎振興局地域振興課】（内線 5002）
【竹野振興局地域振興課】（内線 5210）
【日高振興局地域振興課】（内線 5405）
【出石振興局地域振興課】（内線 5607）
【但東振興局地域振興課】（内線 5811）

(3) 安心安全なまち

No.55 事業名 城崎振興局の取組	2026 年度 予算額	53,807 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

城崎温泉の魅力・ブランド力を向上させる取組み、伝統工芸の「麦わら細工」の振興、城崎地域における公共施設の再編整備などを推進する。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

53,807 千円

(2) 事業内容

ア 城崎振興局プロジェクト

(ア) 城崎温泉夢花火事業補助

事業内容：城崎温泉で夏休み期間中の平日（お盆期間を除く）に行われる花火打上げに対して支援する。

事業費：5,000千円

事業主体：（一社）城崎温泉観光協会



(イ) 麦わら細工振興事業

事業内容：市内の児童を対象に、「麦わら細工」についての学習会と、製作体験を実施する。

事業費：255千円

事業主体：豊岡市



(ウ) 城崎・港未来づくり事業補助

事業内容：市民と共創する行政を目指し、城崎・港地域の地域課題や将来を見据えた取組に対して支援する。

事業採択に際しては市民を含めた審査会にて審査する。

事業費：1,000千円

事業主体：豊岡市

イ 城崎地域ブランド力向上事業

城崎地域ブランド力向上事業

事業内容：城崎温泉の特別な体験価値である「浴衣姿でのそぞろ歩き」の魅力向上を目的とし、景観の中心となる柳・桜並木の整備を実施する。併せて、観光レジリエンスマニュアルを確立することで、災害等のリスクを最小化し、安全な観光地としての信頼性を担保する。避難訓練の実施や、見やすいマニュアル作成を通じて実効性を高め、観光業で働く人々の雇用の安定と地域定着を促進する。

事業費：6,500 千円（地域未来交付金 1/2）

事業主体：豊岡市

ウ 城崎文芸館管理費

城崎文芸館管理費関連経費

事業内容：新たに建設予定の城崎温泉交流センターに機能を統合することに伴い、城崎文芸館の売却に必要な不動産鑑定等を行う。

事業費：1,791 千円

事業主体：豊岡市

エ 城崎観光施設管理費

城崎温泉交流センター整備関連経費

事業内容：城崎地域の公共施設を集約することとし、「城崎温泉交流センター」を「城崎文芸館」と「城崎麦わら細工伝承館」を集約した施設に建て替える。このため 2024 年度に地域と協議し策定した「城崎温泉交流センター基本計画」に基づき、施設の実施設計を実施する。

事業費：39,261 千円

〈実施設計〉 31,350 千円

※【債務負担行為】 2027 年度 64,460 千円

〈コンストラクションマネジメント業務〉 7,911 千円

※【債務負担行為】 2027 年度 7,997 千円

財源：実施設計については過疎対策事業債（充当率 100%）

事業主体：豊岡市

担当課名【城崎振興局地域振興課】（内線 5002）

(2) 経済が活性化するまち

(3) 安心安全なまち

(4) みんなで集えるまち

(6) ともに未来をつくる行政経営

No.56 事業名 竹野振興局の取組	2026 年度 予算額	60,676 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

竹野地域の情報発信や地域の特色を活かした事業の推進、また竹野ファン（関係人口）を獲得するために、夏と海以外の地域の魅力を実際に体験できる事業に構築して、関係人口の増加と地域振興を図る。また、移住者の空き家利活用を進めるため、集落支援員を配置し、空き家と外国人を含めた移住に関する課題解決のための活動を行い、空き家の解消を図る。

また、竹野庁舎の複合施設としての機能を維持するため、エレベーター、中央監視システム及び非常用放送設備の更新を行う。

さらに観光政策として、インバウンド及び多様な世代の観光対策として、観光トイレの洋式化等改修を行う。

2 2026 年度予算

(1) 予算額 60,676 千円

(2) 事業内容

ア 竹野振興局プロジェクト事業

(ア) たけの海上花火大会事業

事業内容：竹野地域の知名度及び地域経済活性化の向上に寄与されるたけの海上花火大会への支援を行う。

事業主体：竹野町海上花火大会実行委員会

事業費：4,000 千円

(イ) 竹野焼杉板景観保全事業

事業内容：竹野駅から竹野浜間を対象地域として、家屋の外壁に焼杉板を使用することに対する経費の一部補助（材料費の1/3、上限20万円）を行う。

事業主体：豊岡市

事業費：600 千円

(ウ) 地域情報発信事業

事業内容：マスコミ及び移住者イベントを活用して、効果的に竹野の地域情報や観光情報を発信し、竹野の認知度向上及び定住者の増加を図る。

事業主体：豊岡市

事業費：183 千円

(エ) 竹野空き家対策支援事業 新規

事業内容：移住者の空き家利活用を進めるため、集落支援員を配置し、空き家と外国人を含めた移住に関する課題解決のための活動を行う。

事業主体：豊岡市

事業費：4,850 千円



イ 庁舎管理費

竹野庁舎機械電気設備改修工事・設計監理業務 新規

事業内容：竹野庁舎の複合施設としての機能を維持するため、エレベーター、中央監視システム及び非常用放送設備の更新を行う。

事業主体：豊岡市

事業費：40,043 千円

財源：過疎対策事業債（充当率 100%）

※図書館及びコミュニティセンター分のみ適用

ウ 観光施設管理費

竹野観光トイレ改修工事

事業内容：インバウンド及び多様な世代の観光対策として、中央観光トイレの洋式化、LED化等改修を行う。

事業主体：豊岡市

事業費：11,000 千円

財源：過疎対策事業債（充当率 100%）



担当課名【竹野振興局地域振興課】（内線 5210）

(4) みんなで集えるまち

(6) とともに未来をつくる行政経営

No.57 事業名 日高振興局の取組	2026 年度 予算額	80,048 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高で暮らす若者の増加を目指し、観光事業等による地域の活性化、協働のまちづくりや日々人生を楽しむまちづくりの推進、移住・定住の促進、交流人口の拡大を図る。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

80,048 千円

(2) 事業内容

ア 日高振興局プロジェクト事業

(ア) 日高地域の先輩に学ぶ授業

事業内容：日高地域で仕事などを頑張っている人が先生となって、中学生（日高東・西中学校）に対して体験談や考え方を伝える授業を実施する。

事業費：80 千円

イ 観光事業

(イ) 道の駅「神鍋高原」事業 新規

事業内容：道の駅「神鍋高原」の指定管理者である日高振興公社を主体に、地域ブランドの展開と施設の機能強化を進める。

事業費：8,000 千円（地域未来交付金 1/2）



(イ) 日高夏まつり事業

事業内容：日高夏まつり事業に補助支援する。

事業費：1,000 千円

ウ 植村直己顕彰事業

日高が生んだ世界的な冒険家 植村直己の「挑戦する心」を伝承し、未来を担う子どもたちや、夢に向かって努力する人々の「挑戦」を応援する取組みを実施する。

(ウ) 植村直己冒険賞事業

事業内容：冒険家・挑戦者を顕彰する全国的な賞を展開する。

事業費：6,554 千円



2024「植村直己冒険賞」受賞者の吉田勝次さん

(イ) 植村直己顕彰事業

事業内容：植村氏の「ことば」の碑を冒険館に設置する。また、4年に一度の「日本冒険フォーラム」を開催して、「冒険」「挑戦」をテーマに全国のチャレンジャーや市民、教育者が集う場を創出する。

事業費：6,760千円（地域未来交付金1/2）

(ロ) 植村直己冒険館の維持管理運営

事業費：57,654千円



担当課名【日高振興局地域振興課】（内線 5402）

- | |
|--------------------|
| (1) 子育てに優しいまち |
| (2) 経済が活性化するまち |
| (4) みんなで集えるまち |
| (5) 整備された「学び」のあるまち |

No.58 事業名 出石振興局の取組	2026 年度 予算額	3,851 千円	新規 拡大 継続
--------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石お城まつりへの支援を行うとともに、重要な観光資源、指定文化財である出石城の石垣除草による景観保全により、観光地としての魅力向上と誘客促進を図る。

また、来館者の暑熱対策として出石家老屋敷にエアコンを整備する。

2 2026 年度予算

(1) 予算額 3,851 千円

(2) 事業内容

ア 出石振興局プロジェクト

(ア) 出石お城まつり補助事業

事業内容：観光誘客と地域活性化、槍振りの後継者育成を目的として開催される第54回出石お城まつりの開催経費を補助する。

事業費：2,500 千円

事業主体：出石お城まつり実行委員会

(イ) 出石城石垣除草事業

事業内容：出石地域の重要な観光資源であり、市指定史跡でもある出石城の景観保全のため、石垣の除草を行う。

事業費：407 千円

事業主体：豊岡市

イ 史料館管理費

事業内容：「出石家老屋敷」にエアコンを整備する。 新規

事業費：944 千円

事業主体：豊岡市



出石お城まつり 槍振り



出石城



出石家老屋敷

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線 5607）

(2) 経済が活性化するまち

(4) みんなで集えるまち

No.59	事業名 出石永楽館歌舞伎開催事業	2026 年度 予算額	97,370 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

出石永楽館は、近畿最古の芝居小屋であるとともに、上方歌舞伎の舞台様式を残した数少ない劇場である。

その出石永楽館で、上方歌舞伎の名優・片岡愛之助さんらの出演により、上方歌舞伎の公演を行うことで、豊岡市の魅力や知名度の向上を図るとともに、来館者が市内観光も楽しむことで地域経済の活性化を推進する。

また、地域住民や団体と一体となって事業を進めることで、「歌舞伎のまち」として、シビックプライドの醸成を促進する。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

97,370 千円

(2) 事業内容

出石永楽館歌舞伎の開催（予定）

ア 公演期間

11月4日（水）～11日（水） 8日間

イ 公演回数

15回（1日2回公演、千鶴楽のみ1回公演）

ウ 会場

豊岡市立出石永楽館

エ 出演

片岡愛之助さん 他

オ 演目

未定

カ 料金

一般 14,000 円

学生（市内在住または通学の小中高生） 4,000 円



担当課名【出石振興局地域振興課】（内線 5607）

(2) 経済が活性化するまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.60	事業名 但東振興局の取組	2026 年度 予算額	153,198 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

但東地域では、「人口が少なくても、状況に応じた快適な暮らしが出来るまち」と「地域のことが“ジブンゴト”になり、地域に関わる人が増えている」状態をめざして、市民と一緒にあって但東地域の賑わいを維持し、持続可能な地域となるよう、但東地域で暮らす魅力を高めていくための取組を行う。

2 2026 年度予算

(1) 予算額 153,198 千円

(2) 事業内容

ア 但東振興局プロジェクト事業

(ア) 但東地域活性化業務（集落支援員設置）

事業内容：地域が抱える課題を市民とともに解決し、活気ある地域を再生するために、地域と行政のパイプ役となる集落支援員を1名配置する。

事業費：5,000 千円

事業主体：豊岡市

(イ) 但東地域公共施設のあり方方針策定業務

事業内容：人口減少に伴う利用者の減少、施設の老朽化に直面している但東地域の公共施設について、市民参加型の検討会議を開催し、特に振興局周辺の公共施設のあり方を検討する。

事業費：1,700 千円

事業主体：豊岡市

(ウ) 但東未来づくり補助金 新規

事業内容：市民が地域課題を「ジブンゴト」として考え、地域のにぎわいづくりや関係人口づくり等、「たんとう未来プラン」の趣旨に沿った事業実施に対して補助する。

（5団体×10万円、補助率1/2、上限10万円）

事業費：500 千円

事業主体：豊岡市

(エ) 但東さいさい運営事業

事業内容：但東の子どもたちと地域住民が、但東の農村歌舞伎舞台で但東の民話をもとにしたオリジナル神楽を上演する。

事業費：2,998 千円（地域未来交付金 補助率：交付対象額の1/2）

事業主体：豊岡市



イ 但東シルク温泉やまびこ管理費

(ア) シルク温泉やまびこあり方検討業務 新規

事業内容：将来の観光需要などを勘案したシルク温泉やまびこの今後のあり方について検討する。

事業費：3,000 千円

事業主体：豊岡市

(イ) シルク温泉やまびこ長寿命化改修工事 新規

事業内容：温泉設備機械や温泉館内の修繕を行う。

事業費：修繕工事費 121,500 千円

監理委託費 12,000 千円

事業主体：豊岡市

ウ 日本・モンゴル民族博物館事業費

(ア) 開館 30 周年記念特別展の開催 新規

事業内容：開館 30 周年記念特別展 ～TV アニメ『天幕のジャードゥーガル』から読み解く～ 「モンゴル帝国の美しき女性たち」展（仮称）を開催し、より幅広い人々の集客と博物館の認知度向上を図る。

『天幕のジャードゥーガル』（著者：トマトスープ）

マンガサイト「Souffle」（秋田書店）にて連載中であり、宝島社「このマンガがすごい!2023」オンナ編で第1位を獲得したほか、「マンガ大賞」に2023年と2024年の2年連続でランクインを果たすなど今大注目の歴史漫画作品。

事業費：6,500 千円

事業主体：豊岡市

担当課名【但東振興局地域振興課】（内線 5811）

(2) 経済が活性化するまち

(4) みんなで集えるまち

(6) ともに未来をつくる行政経営

No.61	事業名	豊岡消防署日高分署の改修事業	2026 年度 予算額	5,610 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市公共施設個別施設計画において、長寿命化を図る施設として位置付けている日高分署の改修を行い、老朽化が進んでいる建物の耐久性を改善し、持続可能な消防サービスを提供する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

公共施設個別施設計画に基づく長寿命化を図るための改修。実施設計、アスベスト調査分析、内外部改修、空調・照明器具等の設備の改修を行う。

(2) 事業期間

2026 年度～2027 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

110,926 千円（緊急防災・減災事業債 100%、脱炭素化推進事業債 90%）

3 2026 年度予算

(1) 予算額

5,610 千円（緊急防災・減災事業債 100%：2,200 千円）
（脱炭素化推進事業債 90%： 200 千円）

(2) 事業内容

実施設計業務

ア 設計業務 5,060 千円

イ アスベスト調査分析業務（10ヶ所）550 千円

4 その他参考事項



(庁舎全景)



(屋根)



(階段室天井)

担当課名【消防本部総務課】（内線 3804）

(3) 安心安全なまち

No.62	事業名 社会教育・生涯学習人材バンク まなびあいネットの運営	2026 年度 予算額	915 千円	新規 拡大 継続
-------	--------------------------------------	-------------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「豊岡市社会教育基本計画」の基本理念である「学びや活動による『自分づくり・生きがいづくり・つながりづくり・まちづくり』」を進めるため、多様な人材を市民から発掘し、市民一人ひとりの知識や経験を活かし、世代・地域を越えて学び合えるしくみを構築する。

また、学びや活動が活性化し循環することにより、地域住民が充実した日々を送り、活力あるまちとなることをめざす。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

915 千円（人生 100 年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金 10/10）

(2) 事業内容

～豊岡市社会教育・生涯学習人材バンク まなびあいネット～の運営

ア 人材の可視化・発掘

- ・各種教室・講座の情報一元化（講師マップの作成）
- ・教えたいこと、伝えたい経験、特技等を持つ市民を発掘

イ マッチング機能

- ・講師を探している団体へ講師マップに登録している講師を紹介

ウ 講座等自主開催

- ・講師マップ登録講師による自主講座、合同企画等開催

エ 講座開催までの伴走支援

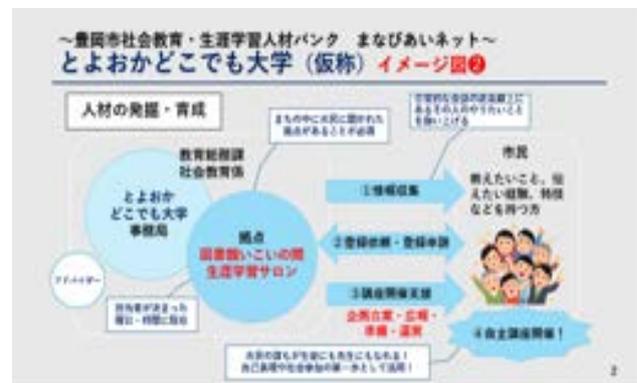
- ・企画立案、広報、準備、運営等の支援

(3) 事業期間

2026 年度～

(4) 事業主体

豊岡市



担当課名【教育総務課】（内線 2701）

(4) みんなで集えるまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.63	事業名 図書館未来プランの改訂	2026 年度 予算額	415 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------	-------------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

10年後の図書館の姿を描くとして2016年度に策定した「豊岡市図書館未来プラン」が2026年度で終了する。引き続き、時代の流れに的確に対応した豊岡市にふさわしい図書館運営を行うために、次期2027年度から5か年の計画とする改訂プランを策定する。

2 2026年度予算

(1) 予算額

415千円

(2) 事業内容

様々な立場の市民と有識者で検討会議を構成し、現行プランの検証と、2027年度から5か年の計画に向けた重点課題・取組方針について検討する。

また、図書館講演会を開催して、図書館の目指す姿を市民に啓発する機会とする。

ア 検討会議

年4回開催。貸出等の本来の機能に加えて、新たに豊岡市立図書館として取り組むサービスや、適切な開館時間、運営体制などについて検討する。

イ 現行プランの検証

市民アンケート（紙・web）、ワークショップを実施して市民の声をプランに反映させる。

ウ 図書館講演会の開催

秋期に開催予定

(3) 事業期間

2026年度

(4) 事業主体

豊岡市



前回の検討会議風景



いこいの間で市民による作品発表
ギャラリートークを開催

担当課名【教育総務課】（内線 2701）

(4) みんなで集えるまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.64	事業名 小学校給食費の無償化	2026 年度 予算額	189,250 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国による保護者負担の軽減を通じた子育て支援に取り組む自治体への支援策として、公立小学校を対象とした学校給食費の抜本的な負担軽減制度が創設されたことにより、市立小学校の給食費を無償化する。

2 2026 年度予算

(1) 予算額

小学校児童分賄材料費（食材料費） 189,250 千円（給食費負担軽減交付金 国 1/2、県 1/2）

(2) 事業内容

小学校（義務教育学校の前期課程を含む）児童分の給食費を無償化

(3) 対象者数

児童 3,304 人分（延べ 604,632 食）

(4) 事業期間

2026 年度～

(5) 事業主体

豊岡市



給食の様子（三江小学校 1 年生）

3 その他参考事項

中学校（義務教育学校の後期課程を含む）生徒分の給食費は、地方創生臨時交付金を活用し、2025年度と同額に据え置き、保護者の負担を軽減する。

公費負担額 22,628 千円（地方創生臨時交付金 16,870 千円）

担当課名 【教育総務課】（内線 2701）

(1) 子育てに優しいまち

No.65	事業名	給食センターの統合（日高等学校給食センターの廃止）	2026 年度 予算額	75,478 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

児童生徒数が急激に減少し学校再編が進んでいる中、現在の3センター体制を維持することは非効率になってきており、最も施設が古い日高等学校給食センターを2026年度末で廃止し、豊岡及び出石学校給食センターに再編・統合する。

2 2026年度予算

(1) 予算額

75,478千円（過疎債 27,500千円、一般財源 47,978千円）

(2) 事業内容

ア 給食配送車購入(3台)	28,016千円(債務負担行為、契約済)
イ 配送車車庫(カーポート)設置工事	7,862千円
ウ 配送用コンテナ、食缶等購入	33,300千円
エ 設備・配送車改修	6,300千円

(3) 事業期間

2026年度

(4) 事業主体

豊岡市



廃止する日高等学校給食センター

3 その他参考事項

(1) 2025年度の配食校・児童生徒数

ア 豊岡学校給食センター	11校	2,783人
イ 日高等学校給食センター	7校	1,150人
ウ 出石学校給食センター	13校	1,502人

(2) 2027年度(再編・統合後)の配食校・児童生徒数(見込み)

ア 豊岡学校給食センター	15校	3,289人
イ 出石学校給食センター	14校	1,776人

担当課名 【教育総務課】（内線 2701）

(6) とともに未来をつくる行政経営

No.66	事業名	学習用タブレット端末の更新	2026 年度 予算額	204,065 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

時代のニーズに応じた ICT 環境の整備を図り、学校現場における ICT の積極的な活用を推進する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

GIGA スクール構想を推進するため、第 1 期（2020 年度）に購入した小中学校の学習用端末を、国県の補助事業を活用して更新する。

(2) 事業期間

2025 年度～2026 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

323,470 千円

（児童・生徒用端末：公立学校情報機器整備事業費補助金 2 / 3）

（指導者用端末：デジタル活用推進事業債 90%）

3 2026 年度予算

(1) 予算額

204,065 千円

(2) 事業内容

小学校・義務教育学校で使用する学習用タブレット端末の更新、付属品の購入
（兵庫県教育の情報化推進協議会の取りまとめによる共同調達）

〔児童用端末 3,294 台
指導者用端末 373 台〕



担当課名 【教育施設課】（内線 2671）

〔5〕整備された「学び」のあるまち

No.67 事業名 非認知能力向上対策事業	2026 年度 予算額	5,586 千円	新規 拡大 継続
-----------------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めていくことを目指す。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 非認知能力向上のための演劇ワークショップの実施

(ア) 市内の小学校1・2年生を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施する。

(イ) 指導は、専門性を持つ外部講師を活用する。

イ 教職員は、授業参観及び事後研修（振り返り）を行うことで非認知能力の理解を深め、日々の授業・学校行事等に活用する。

(2) 事業期間

2019年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026年度予算

5,586千円（ふるさと応援寄附金を活用）



演劇ワークショップに取り組む小学生

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

(1) 子育てに優しいまち

(5) 整備された「学び」のあるまち

No.68	事業名	こども誰でも通園制度	2026 年度 予算額	6,488 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------	-------------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

在宅で子育てをする世帯のこどもが保育所等を利用することで、家庭だけでは得られない様々な経験を通じて、ものや人への興味や関心を広げ成長していき、また、制度を利用する保護者が保育所等の社会的資源や地域と関わることにより、孤立感や不安感の解消につなげる。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

こども誰でも通園制度は、月一定時間までの利用可能枠の中で、保護者の就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付制度となる。

ア 利用対象者

保育所等に通っていない0歳6カ月から3歳未満のこども

イ 利用時間

こども1人あたり月10時間を上限

ウ 利用料

こども1人当たり1時間300円程度

エ 実施場所

保育所、認定こども園、小規模保育所等

オ 2026年4月から実施予定の施設

(ア) 公立園：西保育園、八条認定こども園、港認定こども園、竹野認定こども園、合橋認定こども園、資母認定こども園

(イ) 民間事業者は事業実施にあたり認可が必要であり、2026年3月頃に実施可能な施設を公表予定

(2) 事業期間

2026年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 2026年度予算

6,488千円（国こどものための教育・保育給付
交付金等3/4、県教育・保育給付
費負担金1/8、市1/8）



担当課名 【幼児育成課】（内線 2531）

(1) 子育てに優しいまち

No.69	事業名	保育所等保育料の軽減	2026 年度 予算額	54,853 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------	-------------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

保育所等の保育料（月額）の引き下げ改定を実施することにより、子育てに係る経済的負担の更なる軽減を図り、「子育てに優しいまち」を実現する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

ア 保育料改定の概要

(ア) 保育料を全体で国基準から約 55%軽減する（現状：約 20%軽減）

(イ) 低所得から中所得の世帯（所得割 301 千円未満、全体の 94%が該当）の保育料を現行から概ね 50%軽減する

イ 保育料額表

（単位：円）

住民税課税 区分（世帯）	国基準	豊岡市		軽減額/ 市現行	減額率/ 市現行	減額率/ 国基準	
		現行	改定案				
生活保護世帯	0	0	0	—	—	—	
非課税世帯	0	0	0	—	—	—	
所得割	48,600 円未満	19,500	17,500	9,000	△8,500	48.6%	53.8%
	97,000 円未満	30,000	26,000	14,000	△12,000	46.2%	53.3%
	169,000 円未満	44,500	38,000	20,000	△18,000	47.4%	55.1%
	301,000 円未満	61,000	49,000	26,000	△23,000	46.9%	57.4%
	397,000 円未満	80,000	55,000	36,000	△19,000	34.5%	55.0%
	397,000 円以上	104,000	61,000	47,000	△14,000	23.0%	54.8%

(2) 事業期間

※保育標準時間の額

2026 年度～

3 2026 年度予算

(1) 予算額

54,853 千円

※上記とは別に保育料減収分として約 43,000 千円を見込んでおり、市財政への影響額は全体で約 1 億円と試算

(2) 事業内容

ア 私立の認定こども園及び小規模保育所の園児は、園が軽減後の保育料を徴収するため、軽減相当額を市から園へ給付費として支払う。

イ 公立の保育所及び認定こども園並びに私立保育所に入所する園児は、市が軽減後の保育料を徴収する。

担当課名 【幼児育成課】（内線 2531）

(1) 子育てに優しいまち

No.70	事業名	こども計画の推進（関連事業）	2026 年度 予算額	585,146 (重複あり) 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	-------------------	----------------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市こども計画を推進するにあたり、新年度予算のこども・子育て関連事業のうち、主な新規・拡大する事業、特徴的な事業について、豊岡市こども計画の戦略体系図に沿って挙げる。

2 全体の事業内容

(1) 主要手段1「こどもの多様性が尊重され、自己肯定感を持って自分らしく暮らしている」

ア 全国高等学校総合体育大会の登山競技及びカヌー競技の開催（再掲 No. 31）
【文化・スポーツ振興課】 6,570 千円 継続
全国高等学校総合体育大会の登山競技及びカヌー競技を開催する。

イ 放課後児童クラブ・小学校のトイレ洋式化【教育施設課】 3,450 千円 継続
放課後児童クラブ及び市立小学校において和式トイレを順次、洋式に改修する。

ウ 学習用タブレット端末の更新（再掲 No. 66）【教育施設課】 204,065 千円 新規
GIGA スクール構想を推進するため、第1期（2020年度）に購入した小学校の学習用タブレット端末を更新する。

エ 非認知能力向上対策事業（再掲 No. 67）【学校教育課】 5,586 千円 継続
「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めるため、全小学校で小学1・2年生を対象に演劇的手法を活用したワークショップを実施する。

オ 就学援助受給家庭を対象とした通信環境整備の助成
【学校教育課】 300 千円 継続
就学援助受給家庭を対象に、オンラインによる家庭学習のため通信環境を整備した場合の初期費用・通信費の一部を助成する。

カ フリースクール運営支援・利用者支援の助成【学校教育課】 3,800 千円 継続
不登校児童生徒の学びの場・居場所となっているフリースクールの運営支援のため、活動経費の一部（上限700千円/年）を助成する。また、利用者支援のため授業料の2分の1（上限10,000円/月）を助成する。

キ 英語遊び保育推進事業の実施【幼児育成課】 1,804 千円 継続
英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをオールイングリッシュで行う英語遊び保育を実施する。

ク 運動遊び事業推進事業の実施【幼児育成課】 670 千円 継続
多様な運動遊びを日常保育に取り入れるとともに、運動遊び指導員が各園を訪問し、楽しく体を使って遊ぶ保育を実施する。

(2) 主要手段2「安心して妊娠・出産ができています」

- ア 産婦（産後2週間）健康診査費の助成 【こども未来課】3,700千円 **新規**
出産直後の母親の育児不安の解消、心身の健康維持のため、産後1か月健診に加え、産後2週間での健康診査費を助成する（上限5,000円）。
- イ 1か月児健康診査費助成の増額 【こども未来課】2,220千円 **拡大**
2025年度に創設した1か月児の健康診査費の助成額を増額する（上限4,500円⇒6,000円）。
- ウ RSウイルスワクチンの定期接種化（再掲No.20）
【こども未来課】11,148千円 **新規**
母体を通じて免疫を獲得することで、新生児及び乳児におけるRSウイルスを原因とする下気道疾患の予防を図るため、対象妊婦にワクチン接種を行う。
- エ 特定不妊治療交通費助成制度の創設（再掲No.21）
【こども未来課】11,295千円 **拡大**
こどもをほしい方の経済的負担を軽減するため、治療費助成に加え、新たに通院交通費の一部を助成する。

(3) 主要手段3「安心して子育てができています」

- ア 子育て中の女性の就労促進事業（一部再掲No.13）
【多様性推進・ジェンダーギャップ対策課】934千円 **継続**
アイティ4階の子育て支援総合拠点において、子育て中など働きたい女性の就職・起業・キャリア支援のための個別相談会やセミナーを実施する。
- イ こども医療費の助成拡充（再掲No.15）【国保・年金課】40,000千円 **拡大**
これまで所得制限なく助成していた1歳から小学3年生について、2026年6月末までの期限を無期限に延長する。また、小学4年生から中学3年生までとしている外来診療に係る医療費自己負担額への助成対象について高校生年代まで拡大する。
- ウ ペアレントトレーニング事業の拡充【社会福祉課】14,000千円 **拡大**
発達に特性のある子どもの行動に対し、保護者が適切な関わり方を学ぶためのプログラム（ペアレントトレーニング）において、専門職による支援体制を強化するとともに、教室の開催枠を増やす。
- エ 子育て支援施策等の情報発信（再掲No.22）【こども未来課】1,864千円 **新規**
本市の子育て支援や子育て・教育に関する先進的な取組等を市内外に効果的に、わかりやすく伝えるため、マンガや動画を活用し情報発信を行う。
- オ ひまわり公園メインステージの補修（公園施設長寿命化事業費）
【都市整備課】15,000千円 **継続**
豊岡市街地に立地するひまわり公園（京町）について、損傷したメインステージを補修する。

カ 子育て世帯・若者世帯向けの市営住宅の提供（再掲 No. 51）

【建築住宅課】6,140 千円 **継続**

市営住宅の有効活用と子育て世帯等への支援の観点から、入居率の低い市営住宅の一部を、所得制限なしで子育て世帯や若者夫婦世帯に低廉な家賃で提供する。

キ 小学校給食費の無償化（再掲 No. 64）【教育総務課】189,250 千円 **新規**

国による公立小学校を対象とした学校給食費の抜本的な負担軽減制度が創設されたことにより、2026 年 4 月から市立小学校の給食費を無償化する。

ク こども誰でも通園制度の創設（再掲 No. 68）【幼児育成課】6,488 千円 **新規**

保育所等に通っていない 6 か月から 3 歳未満のこどもを対象に、保護者の就労要件を問わず、保育所、認定こども園、小規模保育所等において、月 10 時間を上限に時間単位等で利用できる制度を創設する。

ケ 保育所等保育料の軽減（再掲 No. 69）【幼児育成課】54,853 千円 **拡大**

子育てに係る経済的負担の更なる軽減を図るため、国基準から全体で約 20%軽減している保育料について、約 55%軽減し低所得から中所得世帯の保育料を現行から概ね半額にする。

コ 放課後児童クラブへの防犯カメラ設置及び ICT システムの試行的導入

【幼児育成課】2,009 千円 **新規**

放課後児童クラブを利用する児童・保護者の不安を解消するため、各クラブに防犯カメラを設置する。また、児童の安全管理と業務効率化を目的とした ICT システムを試行的に導入し、その効果を検証する。

2 全体の事業費 585,146 千円



【こども未来課】（内線 2571）

(1) 子育てに優しいまち